予算決算審査委員会報告書

令和4年10月27日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和4年10月27日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第74号 令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について（産業）	継続審査	—

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和4年10月27日（木）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午後4時45分	閉会
場 所・形 態	委員会室	閉会中の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		土器　豊
		尾川直行		立川　茂
		西上徳一		石原和人
		山本　成		青山孝樹
		藪内　靖		松本　仁
		内田敏憲		奥道光人
		丸山昭則		
欠 席 委 員		なし		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	文化観光部長	大岩伸喜	文化観光課長	片岡英史
	備前焼振興課長	高坂　泰		
	都市整備部長	大森賢二	建設課長	大森康晴
	都市計画課長	小川勝巳	市街地活性化政策課長	瀬口俊明
	産業部長	河井健治	産業振興課長	坂本　寛
	農政水産課長	岡村　巧	上下水道課長	池本吉弘
	総合支所部長	杉田和也	吉永総合支所長	江見清人
	三石総合支所管理課長	瀬尾茂樹	日生総合支所管理課長	横谷美加
	社会教育部長 兼公民館活動課長	波多野靖成	社会教育課長	横谷重樹
傍 聴 者	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会いたします。

本日は、議案第74号令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について、文化観光部、産業部、都市整備部、総合支所部関係の審査を行います。

新型コロナウイルス感染症対策のため、前半に文化観光部と総合支所部を、後半に産業部と都市整備部の審査といたします。前半、後半で執行部が入れ替わりますので、質疑漏れのないように御注意願います。

審査に先立ちまして、25日の本委員会において答弁保留となっていた案件について、社会教育課より答弁を願います。

○横谷社会教育課長 おはようございます。よろしく申し上げます。

令和4年10月25日の予算決算審査委員会教育長関係審査におきまして、中西委員から御質問いただきました決算書200、201ページ関連でございます。

一般会計、教育費、保健体育費、体育施設費、役務費中の手数料20万7,000円の執行がなかったという件につきましてお答えいたします。

本来、社会教育課所管の運動公園の遊具点検手数料として計上しておりました。そのうち伊部運動公園につきましては、修繕案件として修繕及び点検依頼をしたところ、安全基準を満たさないことが判明いたしまして、ブランコと滑り台を撤去したため執行不要となりました。201ページ、需用費、修繕料内の29万7,000円で撤去をいたしております。

それから、総合運動公園におきまして、ブランコ、つり橋、ハンドルカバー修繕と併せて点検を実施いたしまして、201ページ、需用費、修繕料内の15万7,960円でもって執行しております。

日生浜山運動公園におきまして、大型遊具設置に伴いまして設置しておりましたわくぱく丸、これは修理不能ということで撤去したため、執行不要となりました。203ページ、工事請負費141万9,000円をもちまして撤去いたしております。したがって、手数料20万7,000円の執行がなかったことを報告いたします。

○森本委員長 それでは、議案第74号の審査に入ります。

まずは文化観光部及び総合支所部に関して審査を行います。

念のため、所管別分類表に記載の所管の欄中、今回の対象課名について申し上げます。

文化観光課、備前焼振興課、日生、吉永、三石ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、歳入から行います。

決算書は24ページ、所管別分類表は3ページを開いてください。

審査範囲は24ページから27ページまで行いたいと思います。

○内田委員 25ページの一番下の商工使用料の備考欄、観光施設使用料50万8,500円、これはどちらのになりますか。

○江見吉永総合支所長 こちらにつきましては、八塔寺にあります国際交流ヴィラの使用料でございます。

○尾川委員 交流ヴィラの使用料というんですけど、使用者というか、要するに人数当たり幾らという形じゃったんじゃないかと思うんで、何人使用で、それでどの程度、どういう傾向にあるんか説明してください。

○江見吉永総合支所長 令和3年度の使用人数につきましては161人となっております。基本的な使用料というのがお1人当たり3,600円となっております。あと、人数の内訳につきましては外国人の方が68人、日本人が93人となっております。

動向につきましては、新型コロナウイルスの感染が拡大して減っているというところではあるんですけども、新型コロナウイルスの影響があまりなかった令和元年度につきましては、430人年間で御利用があったと。コロナウイルスが蔓延した令和2年度につきましては、年間で70人となっております。令和3年度で161人と若干増えてはきておりますが、まだ少ない状況で推移をしているというものでございます。

○尾川委員 従来でありや400人程度あるのかなという感じですけど、今後どう運用というんですか、施設の使用というのを考えられとんですか。

○江見吉永総合支所長 基本的に国際交流というところでございますので、外国人の方が日本にやってくるというところが増えていくと人数、利用人数につきましても増えていくのではないかと想定はしておりますので、そういった施設ということで継続をして運営をしていきたいとは考えておりますけれども、人数の増減によってその後どういう方策でやっていくかというのは決めていきたいと思っております。

○尾川委員 国際化ということで備前焼とかほかの観光とかの関連というんか、テレビなんか見たらどどん何かオーバーに来るように印象があるんですけど、国際交流ヴィラの目的と対象者というのが違うのかなあと。その辺の連携というのはどう考えられとんですか。単なる観光なんか、それとも備前焼の販売、振興等、あるいは日本遺産でいろいろやられるんですけど、その辺の関連というのは特にはないんですか。

○江見吉永総合支所長 この国際交流ヴィラの運営につきましても、たしか岡山県の国際交流協議会でしたかの関連で外国から来られたお客様を紹介していただけるであるとかといったようなところもございます。単に観光だけではなくて、そういった日本の文化に触れるといいですか、それで備前市の文化に触れていただくというところを目的に、こういう宿泊の施設もありますよというようなところでの紹介というのはありますので、単に観光で来るお客さんだけをというわけではなくて、文化的なところというのもそういった国際交流というのも含んでそういった協会とも協力しながらというところになってくるかなあとは思っています。

○尾川委員 文化施設の単なる文化の振興というよりも、観光に使えるという感じになってきて、だからこの辺の観光と国際交流ヴィラとの連携というのもある程度この時代に合った形で振興を図るといことも必要なんじゃないかと思うんで、その点も検討課題にしてもらえたらと思います。

○江見吉永総合支所長 委員おっしゃられるとおりで、人数が減ってきたときに単に減ってもお金をかけてこの施設を運営していくんだではなくて、観光というところで広く泊まっていただくとか、ここに来ていただかないと話にならないというところは一番あると思いますので、そういったところでも検討していきたいと思います。

○中西委員 26ページの教育使用料、社会教育使用料のうち美術館使用料についてお尋ねをさせていただきます。

この使用料の恐らく人数がこれは分かるんだと思うんですけども、このときの人数、そしてコロナになってからこの入館者の推移はいかがなものでしょうか。

○片岡文化観光課長 令和3年度の入館者数ですけども、4,845人入館者数となっております。それから、コロナ前、平成31年度、令和元年度のときの入館者数が1万75人ということで、約半数ということで、令和2年度についてはすいません、4,161人で少しずつでは回復してきているのかなというイメージでは思っております。

○中西委員 元年度から見ると半分ということになるわけですけど、2年度から見ると少し戻ってはきていると。4,845人というこの中の内訳はどうなんでしょう、県外から来る人が多いんでしょうか、それとも県内なんでしょうか。

○片岡文化観光課長 来館者の方にどちらからというのは一件一件お尋ねはしていませんけれども、団体等での申込みの中では備前市外の方が団体で昨年度は103人、個人で590人ほどその中に含まれているような格好にはなります。

○中西委員 この4,845人のうち、団体客か個人客かというのわかりますか。

○片岡文化観光課長 個人が4,608人、団体が237人になります。

○森本委員長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら次、28ページの農林水産業手数料から37ページ、土木費国庫補助金のところまでを範囲といたします。

範囲は文化観光課、備前焼振興課、日生、吉永、三石が範囲になっております。

○中西委員 28ページの手数料、商工手数料、この吉永の分の手数料とは何なんですか。

○横谷日生総合支所管理課長 船舶航行に関する報告の証明手数料と船員手帳の交付及び書換えの手数料となっております。

○中西委員 農林水産業手数料、1,000円が収入未済額でなっているんですけど。

○江見吉永総合支所長 簡易給水施設の開栓、栓を開ける、利用を新たに始めることについての

手数料でございます。令和3年度については開栓、新たに利用される方がおられなかったということで手数料としては執行されなかったということでございます。

○中西委員 その下の土木手数料、日生と吉永の手数料についてお尋ねをしたいと思います。

○江見吉永総合支所長 吉永総合支所の分につきましては都市計画手数料でございまして、地図、地形図を発行しまして、その手数料として頂いているというものでございます。ちなみに件数としては300円で4件ということで1,200円吉永は納付をしております。

○横谷日生総合支所管理課長 日生につきまして、同じく都市計画関係の地図の売払いで300円掛ける12件となっております。

○森本委員長 ほかにあるでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、42ページの県補助金の衛生費県補助金から47ページの土木費県委託金までの範囲の間です。

○中西委員 42ページの県補助金、商工費県補助金、この日生分というのは内容的には何なんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 頭島の外輪海岸に水上バイク侵入防止ネットに係る設置の県からの補助金2分の1となっております。

○中西委員 これは44ページの地方振興事業調整費補助金なんでしょうか、それとも自然公園等施設整備事業補助金なんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 地方振興事業の調整費補助金となっております。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が48ページの財産収入から最後67ページまでで別紙1と別紙2を参照してください。

○中西委員 50から51ページの財産売払収入の中で書籍・冊子売払収入、これの文化観光課の21万8,880円、これは何なんでしょうか。何冊ぐらい売れたんでしょうか。

○片岡文化観光課長 備前焼ミュージアムでの企画展での図録の販売という格好になりまして、実際には図録が112冊令和3年度販売ができておるといって格好になります。

○尾川委員 今の別紙で報告してもらえんかな。

○森本委員長 5年間ぐらいでデータが出せますでしょうか。

○片岡文化観光課長 分かりました。

○森本委員長 お願いいたします。

歳出に入ってもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出のほうに入らせていただきます。

決算書72ページです。

所管別分類表は4ページを開いてください。

それでは、範囲としては72ページから93ページ、自治振興費までを範囲としたいと思います。

別紙3を参考にしてください。

○青山委員 18ページの別紙3、19負担金補助及び交付金、文化観光課ということで585万2,787円、負担金が2種類ありますが、それぞれお幾らになるのでしょうか。内容も教えてください。

○片岡文化観光課長 この地域活性化企業人の交流プログラムの負担金及び地域活性化企業人活動負担金ですが、こちらについては一般的な地域おこし協力隊の企業版というような考えでいただけたらと思います。令和3年度に近畿日本ツーリスト様から御提案で、令和3年度、1年度になりますけれども、企業人の方に地域おこし協力隊という形でこちらにお越しいただきまして、修学旅行の誘致であったり、観光旅行などの商品化に調査等に取り組んでいただいたような格好になります。

内訳としましては、交流プログラム負担金が560万円、その企業人さんが活動に当たる活動費として活動負担金が25万2,787円という格好になります。

○青山委員 修学旅行は、こういったようなところを中心に発掘なりされたんですか。

○片岡文化観光課長 本来でしたら県内、県外、近隣の市町のほうに赴いて調査実施をしていただきたかったんですが、コロナ禍ということでなかなか遠方には行けず、電話であったりとか、近隣の地域を回っていただいたような格好で調査をしていただくと同時に本市の観光パンフレットなり、そういった情報を県内、県外の小・中学校へお送りしまして、修学旅行、校外学習等の誘致に取り組んでいただいたと。実際に調査していただいたのが岡山県近隣及び県北、それから兵庫県のエリア、大阪、京都府、中四国、香川県であったり徳島県、愛媛県、高知県の教育委員会や小・中学校に一件一件電話で対応を、調査をしていただいたという格好になります。

○青山委員 コロナ禍で実際にどのくらい来られたんか分かりませんが、成果としてはどういことがあったのか、また今後につながるようなことというのはどういうことなのか。

○片岡文化観光課長 実際に各地域の小・中学校にお問合せはしたところですが、大規模な小・中学校にはなかなかお問合せが少なかったんですけども、小規模な小・中学校についてはコロナ禍修学旅行がなかなか縮小されていたような時期でもありましたので、お問合せは何件かいただいていたということにはあります。

○青山委員 実際にそれで修学旅行こっち来られたとか、あるいは修学旅行に代わるものでこちらへ来られたとかということはあるんですか。

○片岡文化観光課長 3件ほど修学旅行で岡山県内から2件、京都から1件お越しいただいてというような格好になります。

○青山委員 数からいうたら少ないかなと。これはコロナでしようがないのがあると思うんです

けど、今後そういう何か問合せがあったり、実際に来られたようなところとのつながりというふうなもの、今後に生かすものというのはどういうものがありましたか。

○片岡文化観光課長 お越しいただいた小・中学校にはまた再度お越しいただくような案内等はさせていただこうかなとは思っております。

○青山委員 新たな取組だと思んですけど、今後につながるようなものにしていただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

今度は140ページから151ページまでです。

○青山委員 147ページ、山村振興費の委託料の八塔寺ふるさと農園指定管理料、どういうふうなことをやられているのか、特筆するものがあつたら教えてください。

○江見吉永総合支所長 こちらにつきましては、備前市の施設管理公社に委託をして果樹等の栽培をしていただいています。面積につきましては、今栽培しているものがブドウ、梨、それから一部薬草というものがございすけれども、ブドウが約5,900平米、梨が約5,300平米、それからお客さん来ていただいて体験の農園というのもやっております、それが約6,900平米ということで、体験農園につきましては芋を掘るであるとか、そういったことをやっているものでございます。そういったことを継続して行っているというものでございます。

○青山委員 薬草もということなんですけど、薬草を栽培してどのように販売とか利用されているのでしょうか。

○江見吉永総合支所長 数年前から地域おこし協力隊の方とかも参画していただいて栽培しているんですけど、まだ試行段階ということでやっているというのが現状でございます。

○中西委員 141ページからの農林水産業費、農業費の中で日生の農業というのはどこにこれは予算があるのでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 144ページから145ページにかけて農地費の需用費、修繕料につきましては、日生では、鹿久居島の農業用水路の修繕等を行っております。また、三軒屋の東の水路の土砂の撤去等農業用水路の修繕になってございます。

○中西委員 148ページから151ページの日生の林業費というのはどこにあるのでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 148ページから149ページにかけましては、農林振興費の需用費の消耗品と修繕料で、林業の維持管理事業として舗装修繕の材料等を行っております。

○中西委員 日生の場所はどこになるのでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 寺山と鹿久居となっております。

○中西委員 148ページの林業振興費の需用費の修繕料、これは日生で言えば寺山と鹿久居島で、全ての金額ではないと。多分、本庁が持っている修繕料と出先が持っている修繕料、この区

別はどこでされているんでしょうか。金額でされているんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 寺山で12万1,000円と道路修繕、鹿久居で9万9,000円となつてございます。30万円未満につきましては支所で修繕等を行っております。

○中西委員 もしこうなってくるとこれ積算で積み重ねてきている修繕料ですから、修繕料の内訳というのを出してもらわんとこれはもうさっぱり分からないということになってくるんじゃないかと。だから、そうすると次の予算決算審査委員会が来年度行われたとすれば、そこも資料で修繕料は幾らというのを資料要求せざるを得ないなあと思います。

一応そういうことをしないと分からないなという感じになってきました。

○森本委員長 来年に向けてはまだ検討させてください。

いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次行きます。

150ページの商工費から165ページ、港湾費までを範囲とします。

○西上委員 155ページの13節委託料の古代体験の郷指定管理料315万円、これは日生でよろしいんですかね。

○横谷日生総合支所管理課長 こちらにつきましては、日生の分ではございません。

○森本委員長 まほろばや思うたんやけど。違うんかなあ。

暫時休憩します。

午前10時25分 休憩

午前10時39分 再開

○森本委員長 休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

○横谷日生総合支所管理課長 休憩前に御質問していただきました観光費委託料の観光施設維持管理事業につきましては、日生総合支所の件となっておりますので、訂正させていただきます。

○西上委員 155ページ、13節委託料で古代体験の郷指定管理料315万円の部分で、この委託料の指定管理の委託管理先、また契約の仕方、詳細、その辺の詳細を教えてください。

○横谷日生総合支所管理課長 古代体験の郷「まほろば」につきましては、指定管理料といたしまして債務負担行為を令和3年度から7年度で行っております。5年の公募といたしまして、指定管理で契約しております。

委託先につきましては、ベネフィットホテル株式会社となっております。

○西上委員 ベネフィットということで、岡山いこいの村なんかも経営されるところだと思いますけれども、岡山いこいの村は依然として昨年来閉館されておりますが、問題ないんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 まほろばにつきましては、令和3年度におきまして御利用された方は1,689名となっておりますが、令和3年度におきましてはコロナの関係もございまして

752人と減っております。

○**西上委員** 税金を投入されて設置された施設ということで、一管理者にお任せしとるということはどうしても私物化されるというような、島ですから、そういうような懸念もございますけれども、日生総合支所さんでそこに現場に年に何回ぐらいは立ち入ったりして、訪問されてどのように経営されておるか、経営状況を見たり聞いたりするようなことは年に何回ぐらいありますか。

○**横谷日生総合支所管理課長** 地域おこし協力隊2名が、まほろばと連携して観光についていろいろエコツアーなど企画を行っております。職員につきましては、月に数回現場を見て、また地域おこしの2人と併せてまほろばについて道路等につきましても管理を行っていくということでございますので、数回は訪問しております。

○**西上委員** ベネフィットホテルさんのほうとは先ほども私言いましたように岡山いこいの村さんは閉館されておりますけど、経営的には。というのが、日生の温浴施設さんも無償譲渡で市には一切関係ないと、市には一切御迷惑はかけないということで温浴施設をやろうとしておったところが、途中からできないというような経緯がございますので、少々心配な部分はありますけれども、その辺は心配ないんですか。

○**横谷日生総合支所管理課長** 経営状況につきましては、月に一遍聞き取りを行っております。また、リピーターの方も数多くおられるということで、今後コロナが終息するとともに増えていただくように、また地域おこしの方と一緒にSNS等を利用して御利用を促進していきたいと思っております。

○**西上委員** 月に一回聞き取りをされているということですが、差し支えありませんでしたらその聞き取りの内容をもう少し報告していただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。

○**横谷日生総合支所管理課長** 月に一遍利用者数と宿泊の人数等の報告をいただいております。また、建物等についてもどういった状況かとかの聞き取り等を行っております。

○**中西委員** 154ページ、観光費、委託料、不用額調べの6ページ、施設の利用実績が見込みを下回ったためと書かれているんですけども、内容についてももう少し教えていただけたらと思います。

同時に、上から4段目、行事企画運営委託料、これが予算では454万円計上されていまして、実際には264万6,930円しか執行されていないので、大体半分に近い4割ぐらいですか、ここももしこの担当課であればお聞かせ願いたいと思います。

○**片岡文化観光課長** 今の行事企画運営委託料についてですけれども、令和3年度実施を予定しておりましたイベント等での実施の委託料を計上しておりましたが、令和3年度コロナによる備前焼まつりが中止であったり、いろんなイベントが中止になったということで、その委託料が165万円減額を当時させていただいておるような格好になります。

○**中西委員** その不用額調べの中では商工費、観光費、負担金補助及び交付金の中で不用が生じ

た主な理由というのは備前焼まつり中止による未執行ということが書かれているんですけど、備前焼まつりのお金だけでなくそれ以外の、それに付随する行事委託料というのはあったんでしょうか。

○片岡文化観光課長 実際には備前焼まつりもあるんですが、ほかのイベントでもですけども、ちょうど映画の公開が終わって翌年度で再度また映画公開後の記念イベントを備前焼まつりであったり、ほかのイベントで実施できないかということで予算を計上させていただいていたんですけども、ちょうどコロナが緊急事態であったり、まん延防止の時期にかかりましたので、中止せざる終えないということで未執行という格好になった形になります。

この委託料その全体の積み上げの不用額になってきますので、個々のどこがというのは。今お話しさせていただきました行事企画運営委託料については減額させていただいたので、これだけについては15万3,000円の不用額になりまして、それぞれの委託料の不用が積み上げたものが162万1,606円になっていると思うんですが。

○中西委員 ここで書かれているのは施設の利用実績が見込みを下回ったためと不用額が生じた理由は書かれているんですね。私が言いましたように、行事企画運営委託料というのはコロナの関係で様々な行事が中止になっていると。つまり施設の利用実績や見込みを下回ったためではないという一つのものなんですよ。

あと、施設の利用料、施設の利用実績や見込みは下回ったためにこの執行残が出たというふうにはこの委託料を見る限り思えないんですけども、というのが私の疑問なんです。

○江見吉永総合支所長 このうち吉永総合支所で所管しております国際交流ヴィラの委託がございます。それにつきましては、国際交流ヴィラの利用人数が下回った、予測よりは下回っているということ、先ほど歳入で申し上げました160名程度になっているということで下回っているということで、それについては不用額で約75万円を上げているということが入っているのではないかと思います。

○中西委員 国際交流ヴィラというのはどこにこの予算がついているんでしょうか。

○江見吉永総合支所長 155ページ、委託料の中で観光施設維持管理委託料に入っております、877万325円になります。

○森本委員長 吉永支所関係はもうここだけですか、委託料の中で。

○江見吉永総合支所長 はい。

○森本委員長 文化観光課のほうでは委託料の中では、先ほどのところだけでよろしいんですかね。行事企画運営委託料だけですか。ほか関係してある委託料はありますか。

○片岡文化観光課長 各委託料での不用額になります。先ほど、行事企画運営委託料については15万3,070円、デザイン業務委託料が5万5,000円、草刈り作業等委託料が4万3,600円、あと観光情報作成業務委託料が560円、閑谷学校駐車場等管理委託料が500円、あと特殊建築物調査報告書作成業務委託料が269円、以上が不用額になります。

○中西委員 要は、国際交流ヴィラで70万円の利用実績が下回ったということは言えるんですけど、あとここで見れば162万円ですから先ほど課長がおっしゃられた金額からすると残っている金額は僅かなもので、70万円にそれ足したとしても100万円にもならない。あとはほかの産業振興課なんかのものになるのでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 日生総合支所関係で御説明させていただきます。

海岸漂流物等地域対策推進事業として16万2,640円、支障木の伐採委託料が16万4,000円、草刈り作業委託料が9万9,000円、施設清掃委託料が2万6,990円、消防設備点検委託料が8,390円、浄化槽維持管理委託料が3万720円となっております。

○中西委員 いずれにしても利用実績というところにはならないものですね。

○大岩文化観光部長 いろんな部署の委託料が入ってきますんで、なかなか多岐にわたりますけども、ここで不用調べの中では施設の利用実績が見込みを下回ったためともう1行で書かれておりますので、今後はこういった書き方じゃなくてある程度どういったところが残ったかというのをそれぞれまとめて書けたらというようなことで来年度以降させていただきたいと思います。

○尾川委員 視点変えて行政評価シートで、これが大岩文化観光部長のところの2次評価者ということで、旅行者の滞在時間の延長と、それから受入れ環境、これはええとして、観光資源の有効活用、このあたりの詳しい説明をしていただけたらと思うんですが。

何が言いたいかというのは、いろいろ担当者の方御苦労かけて備前焼まつりというか、備前焼フェアの回数も増えたりしとんですけど、その辺の評価というのを件数とか書いてあるんですけど、もう一つ踏み込んだ説明をお願いしたいと思うんですが。

○大岩文化観光部長 このたび日本遺産で今年度も関わってくるんですけど、備前市には閑谷学校であるとか、備前焼であるとか、北前船であるとか、有効な観光資源は幾らでもあるんですけども、ただそれがリンクしてないというんですか、通過地点に観光客の方がなっているような印象がありますので、そういったところを今後巡るような企画を今も観光庁の補助金とかで考えているんですけども、そういったところでただの通過地点でなくて幾らかでも備前市に長居をしていただくようなことを今考えてやっているところでございます。

○尾川委員 990人という数字が出とんじゃけど、その根拠というか、誘客人数というのはどういう物差しでもって990人というて言よんですか。

○片岡文化観光課長 実際に今観光課のほうで実施しております観光ツアーの促進補助金ということで、これが実績の990人になります。

○尾川委員 言いたいことは普通計画というか、全てに通ずるところはあるんですけど、いろいろ企画されてあんたらについていくだけでも大変じゃと思うんですけど、そういうものをもう少し見える形で計画書の作成というたりするのは、要するにPDCAを回してやらんと、ただやみくもにやるだけじゃあこの世界遺産というか、日本遺産も3つになってどれを重点的にやりよんかとも、3つもやるんだと、あるいは世界遺産を狙うとんじゃとかということなんですけど、

その辺の計画をつくるという考え方はないんですかなあ。もうちょっと見える形で、予算から始まるような感じでね。あと、チラシがついてきたりするようなことで。その辺の考えは部長としてはないんですかな。

○大岩文化観光部長 委員おっしゃるとおりです。今、例えば備前焼フェアなども今年からしているんですけど、その中でブラッシュアップしながらアンケート調査もいろいろ取っ取りますんで、この備前焼まつりにしてもアンケート調査取っておりますんで、そういったところも今後データを集めて今後の、今は予算を使ってその集客とか備前焼とかの産業を何とかしたいというのは、思いはあるんですけども、そういった今は予算を取ってそういったところを実行している。今後は、そのデータを取りながら今後に活かしていきたいというような形では計画していきたいなどは考えております。

○尾川委員 計画ありきじゃねえんですけど、そら資源も人材も有限で、いろいろせえ、あれもせえ、これもせえというわけにいかん、まずアクションかも分からんですけど、何をどうやっていくという、それで今言う3つをどれに力入れるんかということを絞っていかんと備前市ぐらいの規模で、それで二、三人の構成員であれもやる、これもやるというたらそら限界があるような気がすんじゃけど、それは担当者は分かっと思えると思うんじゃけど、その辺をもう少し委員にも見える形にしてもろてこうやっていくんじゃと。結局今大岩部長が言われたように小豆島の船も芸術祭からの流れがどのくらいあったんかというのも全然見えんし、アンケートを取っとるといって、備前焼も。今回は8万人ですか、その辺もざっくりじゃろうと思うんですけど、そういうもう少し細かいことをこっちにも知らせてもらうたりしたら予算や決算の見方も変わってくると思うんで、もう少し計画性というのをぜひやってもらいたいと思うんですけど。その辺は今話があったんですけど、計画をもう少し見える化するということは考えてないんですかね。

○大岩文化観光部長 予算を取るときにはそういったところでこういったことをしますということで説明しながらやらせていただいておりますところではございますが、今集計しておりますので、11月の委員会でもそのアンケートの調査結果につきましては資料を提出させていただきますので、そういったところを判断していただいて、今までしてきたことが今は、今年度はコロナ禍でありましたのを今立て直しているところでもありますので、そういったところを見ていただいて判断していただきたいと思っているんですけど、計画につきまして今後こういったところに力を入れていくんだということは何らかの形でお示しできたらなどは思っております。

○中西委員 156ページの観光費の第19節負担金補助及び交付金、不用額について、この不用額調べで見ますと新型コロナウイルス感染拡大の影響により補助対象事業が縮小し、補助金の交付実績は当初の見込みを下回ったと。備前焼まつり中止による未執行というのが上げられているんですけども、教えていただきたいと。

中を見ていますと、備前観光ツアー促進補助金、当初の予算の100万円が56万3,000円の執行と、159ページのところでは観光推進事業補助金、これが当初では400万円あった

のが、243万4,261円というふうなところもありましたので、不用額についてお聞かせ願いたいと思います。

○高坂備前焼振興課長 備前焼振興課のほうでは備前焼まつりの補助金400万円、これが丸々不用額になっております。465万円のうちの大部分でございます。

それから、私どものほうの所管では伝統的産業振興事業補助金395万925円と実績値が上がっております。予算が400万円でございますので、その残り4万9,075円が不用額となっております。

○片岡文化観光課長 観光課の案件では観光推進事業補助金にありますが、令和3年度実施予定であったSEA TO SUMMITですけれども、こちらの分がこれも直前になってまん延防止の適用措置が本市も適用になりましたので、急遽中止ということで、実質の補助額の途中まで準備はかかっておりましたので、43万7,000円が不用額として上がっております。

○中西委員 その上で、ここの負担金補助及び交付金の中で観光協会の補助金が1,200万円出されているわけですけど、これについての評価はいかがなものでしょうか。

○片岡文化観光課長 令和3年度につきましては、伊部の観光協会の開設もあったり、いろんなところで事業の新しい開発がありましたので、ほぼ補助金については人件費が50%以上は充てられているものだと考えておまして、適正に執行されたものではないかと考えております。

○中西委員 つまりこの1,200万円の補助金は大変有効であったと、必要なものだったと私たちは認識してもよろしいのでしょうか。

○片岡文化観光課長 そのとおりだと思います。

○尾川委員 157ページのJR赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金50万円、結局これはポスター程度ということで進められて、カキオコかぐらいの程度のポスター代じゃろうと思うんですけど、これもまた範疇が違うかも分らないんですけど、赤穂線の利用促進策というふうなところも発展的に、一般質問でして発展的に展開を図るような答弁があったような記憶はあるんですけど、そのあたりはあくまでも観光という限定でこの活性化連絡会議というのは担当者とするりゃあ考えて、そういった利用促進対策については積極的じゃあないというんですか、その辺の考えを。

こっちとすりゃあもう少し視野の狭え利用策、これもカキオコで利用促進というふうなことにもつながるとは思うんですけど、もっとダイレクトに利用促進についての対応のお考えをお聞きしたいんですけど。

○片岡文化観光課長 県境の備前市をはじめ瀬戸内市、お隣の赤穂市、相生市の各市町も賛同しまして実質は備前県民局とお隣の西播磨県民局、県のほうが主体となって実施していただいている協議会となります。

赤穂沿線の地域の活性化と、先ほど委員が言われましたように赤穂線の利用促進という面を踏

まえてこの観光誘客、集客に努めていくというものになっております。実質カキのシーズンは、この瀬戸内沿岸の市町になりますので、共通したカキのシーズンのPRであったり、それぞれの市町のまちあるきマップの作成であったりというようなことに取り組んでいるような格好になります。

○尾川委員 要はもう少し広範囲な取組というか、ただ県の指導、県の指導というて言うんですけど、その辺もっと主体性を持ってやるというような考えはないということですか。

○片岡文化観光課長 本市もこの協議会のメンバーとして入っておりますので、この協議会に事業提案をいろいろと投げかけてさせていただいて、さらに観光誘客促進につながるような事業提案は引き続きさせていただこうとは考えておるところです。

○石原委員 157ページ、19節ですけれども、上から3つ目ですか、六古窯日本遺産活用協議会負担金ございますが、こちらの協議会の令和3年度の活動の内容であったり、取組についてお聞かせいただければと思うんですが。

○片岡文化観光課長 令和3年度の六古窯の取組についてですが、石川県小松市で行われました日本遺産フェスティバルに参加をしまして、六古窯のほかの5市町と共にPRの取組を実施してまいりました。

また、企業さんとのタイアップとして伊藤園さんであったり、ネスレ日本のコーヒーさんと六古窯の作品を取り扱っていただいたその企業さんのキャンペーンの企画に賛同しまして、一緒に六古窯の作品、六古窯のPRに取り組んでいただきました。

そのほかはっぴであったり、マスキングテープの作成というような内容になります。

○石原委員 中西委員先ほど取り上げられました観光協会への補助金1,200万円ですけれども、こういった団体への補助金ですが、予算可決後はどのような流れ、手続を経て、いつ頃相手先へ交付されたのでしょうか。

○片岡文化観光課長 令和3年度につきましては、令和3年4月1日に交付決定をしまして、5月頃の交付を前金でさせていただいているような格好で、令和3年度末に精算をさせていただいております。

○石原委員 5月に交付されたということで。

それから、その下の備前焼陶友会さんへの補助金、こちらについて同様の質問ですけれども、お聞かせいただければ。

○高坂備前焼振興課長 令和3年度の陶友会の補助金につきましては、同じく4月1日に交付決定を行いまして、同じく前払い金で40万円交付しまして、年度末に精算、実績報告を受けて精算という流れになります。

○石原委員 時期としては先ほどの観光協会と同じという捉えでよろしいんですかね。

○高坂備前焼振興課長 そのとおりでございます。4月1日の交付決定のときに概算払いをしてよろしいかということで決裁を受けておりますので、これが決裁がございましたら概算払いでお支

払いをしております。

○石原委員 それから、幾つか下の備前観光ツアー促進補助金ですけども、56万3,000円。こちらの実績、日帰りであったり、宿泊であったり、もろもろありましようけれども、内容をお聞かせいただければ。

○片岡文化観光課長 令和3年度の実績ですが、全体で990人の方に御利用いただきました。日帰りで19件のうち854人が日帰りとなります。宿泊が3件ありまして、136人の方が対象として利用していただいております。

○石原委員 それから、規定の中で市内の2か所以上でしたかね、観光で回っていただいた方が対象のようですけども、その2か所っていろいろあるんでしょうけども、どこどこが人気とか、閑谷学校あたりはそれはもうまず上がってくるんでしょうけど、幾らかでもお聞かせいただければなど。

○片岡文化観光課長 今おっしゃられましたように閑谷学校も一つですけども、日生の民宿等でのお食事であったり、五味の市の立ち寄りであったり、それから企業さんであります、マルナカさんの海の駅に立ち寄りであったりということで、そういったところには立ち寄り証明書というものをそのツアーの方に、その事業者の方をお願いして記載していただいて、何人の方が御利用されたかというようなものを後ほど補助申請として、請求として出していただいて、その一部を補助させていただいているというような形になります。

○石原委員 その立ち寄り証明がいただける場所、さっき言われた商業施設のようなどころもあったり、大体どれぐらいでその立ち寄り証明なるものはあれをいただけるんでしょうか。

○片岡文化観光課長 実際にはその旅行会社さんがツアー企画で実施していただいておりますので、その旅行会社さんが立ち寄る先に事前にその立ち寄り先へ申請を出されておりますので、立ち寄った際に証明をそのままいただくような格好になっているかと思えます。

○石原委員 ページ変わって159ページの一番上、備前陶芸センター運営の補助金、こちらも予算可決後の流れ、それからいつ頃こういった補助金を交付されたのか。

○高坂備前焼振興課長 備前焼陶友会の補助金と同じ流れてございます。4月1日に交付決定をいたしまして、概算払いで250万円をお支払いしまして、年度末に精算という流れになっております。

○石原委員 じゃあ先ほどの2件と同様、5月頃交付がされて年度末に精算ということで。

○高坂備前焼振興課長 交付時期は6月30日でございます。まとめて文書にし、後ほど提出させていただきます。

○石原委員 続けてなんですが、先ほど観光施設のところの不用額の中に国際交流ヴィラについてもその管理料の減額でしたか、不用となったという御答弁あったかと思うんですけども、その予算に対してじゃあ利用状況も鑑みた上で不用となる、減額となる、その判断の物差しというか、基準というか、そういうのは何か決まりとしてあるんでしょうか。

○江見吉永総合支所長 利用1件当たりにつき幾らという委託形態になりますので、利用が少ないと委託料も少なくなってくるというものでございます。

○尾川委員 157ページの負担金補助及び交付金、観光ボランティアガイド協会補助金100万円についての活動状況は行政評価でも出とんですけど、今どのくらいの人員が所属になっているのかということと、それから備前市の職員の方がそのメンバーに入るとるんかどうなのかということをお聞きしたいんですけど。

○片岡文化観光課長 ボランティアガイド協会の会員ですが、47人の方がおられます。市の職員は入っておりません。

○尾川委員 それで、47人で高齢化はもうどんどん進んどると思うんですけど、そのあたりで47人でこれから今言う目標が4,300件という目標を立てられとんですけど、どういうふうに関後運用を考えられとんのですか。

○片岡文化観光課長 実際にはコロナ禍ということで減少はしてきておるところではありますが、ボランティアガイドさんについては今回岡山DCキャンペーン等でもガイドのPRもさせていただいておまして、今後もそういった観光地等でのPRをこちらからもPRさせていただいて、御利用を勧めさせていただきたいと思っております。

○尾川委員 ボランティアガイドというのは重要性を私も感じとって、高齢化も進んだりしておるとは思うんですけど、今話があったように新しい人をどう入れていくんかということと、それからガイドだけじゃなしに市民に対しての観光客に対する対応の在り方についても同様でないかなあと思います。

というのが、私も先日広島のほうへ行ったときにガイドじゃないんですけど、結構親切に教えてくれる人がおったりするような形がありまして、ボランティアガイドは専門で申込みして対応していくということはよう分かるんですけど、その養成と、それから市民に対してのそういった活動というか、観光客に対する対応についての考え方について教えていただけたらと思うんですけど。

○大岩文化観光部長 ガイドさんにつきましては養成講座であるとか、研修をやっているところではありますが、一番言えることは市民の方もそうなんですけど、観光客のお客さんとして来ていただくんで、一番はおもてなしの心かなというふうにはあるんですけど、今それをどのように市民の方に寄っていくか、私もやり方は分かりませんが、おもてなしの心を持って接していただきたいというのが今言えることです。

以上です。

○丸山委員 157ページの15節の工事請負の海水浴、この海水浴の砂浜の整備工事ってことで48万4,000円なんですけど、例えばどこの海水浴か、島であろうなということは思いつくんですけど、これもう仮に砂の整備っていうことになると毎年、大潮が来たり、台風が来たら当然砂は入れたけど、流れてっていうことになれば毎年毎年進行していくのかというのが思っ

てしまって、どうなのでしょう。

○横谷日生総合支所管理課長 海水浴場の砂浜整備工事につきましては、頭島にごきます外輪の海水浴場についての整備を行っております。先ほど、委員さんが言われたとおり台風等、潮の流れとかによって海水浴場の土が流されていきますので、その整備工事ということになってございます。

○丸山委員 毎年切りがない状態であるということですかね。

○横谷日生総合支所管理課長 大多府につきましても行っておりますが、令和3年度につきましては大多府のほうはそれほど砂が減ってないということでしたので、行っておりません。外輪につきましては、必要ということで行っているという状況でございます。

○丸山委員 ただ、その海水浴を利用されているというか、多分無料ではあるとは思いますが、結構来られているんですかね、観光の方とかっていうことは。

○横谷日生総合支所管理課長 令和3年度につきましては、コロナの影響もございましたので、開設はいたしておりませんが、砂がないということで整備をさせていただいているという形でございます。

○中西委員 156ページの負担金補助及び交付金、観光協会の補助金と備前焼陶友会補助金が出ています。できれば委員長、協会あるいは陶友会の決算と、それから備前市が公金を入れている部分、それが分かる資料を提出していただけたらとお願いをしたいと思います。

○大岩文化観光部長 うちが出している補助金の額については当然実績報告をいただいておりますので、それは検討しますけども、実際に陶友会さんであるとか、観光協会さんであるとか、その決算資料が私どもが出しているものかどうかというのが判断つきませんので、実績報告であるのでよろしければそういったものは資料として提出できるのかなとは思っておりますけど。

○中西委員 出せるもので結構です。

○森本委員長 出せるもので結構ですということなので、お願いいたします。

お急ぎですかね。

○中西委員 急ぎません。

○青山委員 155ページの13委託料、海ごみ対策事業の委託料についてなんですが、73万7,360円が上がっているんですが、当初予算では90万円で前年度を見ますと21万5,000円アップをしているんですが、どのような内容のことをされたのか。

○横谷日生総合支所管理課長 頭島の外輪の海水浴場につきまして、44万2,120円となっております。7月20日から8月31日で延べ57人、このほかに11月10日から12日の2日延べ10人が行っております。そして、鴻島の本村の地区につきましては、金額が29万5,200円、令和4年3月3日から4日の2日間で延べ21名が行っております。そして、鶴島地区におきまして29万5,240円、こちらが10月18日から22日間の2日間で延べ20名の方が掃除をしていただいて委託料とさせていただいております。

○青山委員 どういう人を対象に集められてやられたんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 頭島の外輪につきましては、一般社団法人みんなでびぜんに委託しております。鴻島につきましては、日生町漁業協同組合に委託してございます。鶴島につきましては、ベネフィットホテルに委託をしております。

○青山委員 観光目的でボランティアを体験するというふうな、そういったような内容をされたんですか。それとも、中には漁協ということでここを使っている関係の方がやられているということもあると思うんですけど、観光目的でやられたとかということはないんですか。

○横谷日生総合支所管理課長 沿岸部分につきましては、海ごみが集まってくるので、その回収処理等を事業所の方をお願いしている状況でございます。

○青山委員 観光目的のようなことで集まっていたいて、一般の方にボランティアやられたということはないんですね。

○横谷日生総合支所管理課長 観光関係では、農林水産課がボランティアの方とか大学生を呼んでお願いしているところもあると聞いております。

○青山委員 ここでやられたものの中にはないという認識でよろしいんですか。

○横谷日生総合支所管理課長 この委託料につきましては、ボランティアではございません。

○松本委員 今の青山委員の質問に関連してですけど、海ごみ対策で249万円云々でありますけど、このごみ対策の委託料とさっきのごみ対策、海ごみ対策はどう違うんですか。

○横谷日生総合支所管理課長 海ごみに関しましては農林水産課の備前市沿岸部というのもございますので、うちの日生総合支所に関しての海ごみ対策事業委託料について先ほど御説明させていただきました。

○松本委員 この240万円については分からないということですか。

○横谷日生総合支所管理課長 そちらについてはほかの課になると思います。

○松本委員 さっきの海ごみ対策というのは、要は海水浴対策と理解していいですか。

○横谷日生総合支所管理課長 海岸沿いの海水浴場等をきれいにするというところでございます。

○尾川委員 157ページの負担金補助及び交付金、伝統的工芸品産業振興会負担金5万円もうずっと決算で続いて5万円出とんです。どういうふうな形で活動をされとんか。

○高坂備前焼振興課長 伝統的工芸品産業振興会負担金でございますが、こちらは一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会へお支払いしております。その協会は、46年という長きにわたってのもので。こちらの活動で伝統的工芸品についての伝統的技術、技法の継承、それから向上、それから後継者育成、産地振興の中核者たる伝統工芸士の更新試験の実施をされております。

伝統工芸士の方の技術継承、それから伝統工芸品の販路の拡大とか、そういうことを主にやっ
ていらっしゃるところでございます。そちらのほうに賛同しまして5万円という負担金を払って
おります。

○尾川委員 結局、備前市の場合備前焼関係だけじゃろうと思うけど、その伝統工芸士の選任と

うか、資格を取るというのはどういう基準になつてんですか。

○高坂備前焼振興課長 詳しくは覚えてないんですが、経歴、何年以上している、それからその備前焼の中にも成形というところと総合部門というのがあって聞いております。ですので、試験官という方がいらっしゃるって、そちらの試験で合格したら伝統工芸士になれると思っております。詳細については把握していません。申し訳ございません。

○尾川委員 備前市が推薦して工芸士というのは選任するというか、表彰するというか、認定するというか、そのあたりはもうその今言う振興会が勝手にやるということなんですか。備前市が絡んでどうこうということはないんですか。

最近伝統工芸士が認定されてきとんかなあというのを聞きしたかったんですけど。

○高坂備前焼振興課長 陶友会が事務局をしておりまして、作家さんや県民局長などが試験官で面接や実技の試験をしていると聞いております。近々工芸師になった方ということについては把握できません。試験をしていらっしゃるということしか私どもでは把握できておりません。

○尾川委員 備前焼については備前焼のエリアでもう伝統工芸士というのは決定するという事、今の説明じゃあ。

場所ごとに第三者的にな。要するに、文化庁の外郭団体みたいな形のもんが大体そこらを取り仕切って、えろう備前焼、焼き物あるいはほかの染め物とか、あるいは漆塗りとか、そういうふうな範疇で伝統工芸士というのじゃなしに、備前焼じゃこのエリアでもう、陶友会でもうやってしまふよということ。

○高坂備前焼振興課長 伝統工芸士の試験は協会が主になってやっております。その中の試験官として備前焼作家さんが入ったり、県民局が入ったり等しておりますので、備前市が主導してとか、備前市だけで試験とか、工芸師さんを認めているということではございません。

○森本委員長 ほかにありませんか、165ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が164から167ページ、所管のところに日生とありますので、164ページから167ページの間で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、196ページから207ページ最後までです。

196から207、別紙4を参考にしてください。

○中西委員 別紙4のところでお尋ねをしたいんですが、不用額調べ9ページで教育費の不用額が139万9,902円出ていますが、不用額が生じた理由は企画展の作品輸送を外注予定としていたが、職員で対応できたためとなっているわけです。こういうふうにかかると、当初の予算の積み上げの計画はどうだったのかということが一つはどうかと疑問が出てくるわけです。当初の予算の算定のときはどうだったのか。

○片岡文化観光課長 実際企画展を年度途中、補正で計上させていただいております、その企

画展に展示する作品を市外、県外から美術館等でお借りしまして、こちらに移送するための輸送委託料ということで120万円計上させていただいておりました。しかしながら、年度末ぎりぎりの企画展等もありまして、またコロナ禍ということで作品の借用がなかなか難しいということで、県内近隣の陶器をお借りしまして企画展を実施しました。それに伴って職員で輸送については対応させていただきましたので、実質輸送料が不要になったということで不用額として上がっているような形になります。

○中西委員 つまり当初の企画展の中身、内容から少しコロナのことも含めて変わったと。それに伴って、集めてそこに展示をすべき品物が近場から取り寄せたと、表現がしにくいんですけども、取りに行きやすいようなものになったと。難しいピアノの輸送会社みたいところが扱うようなものではなくて、職員でもできるようになったということなんですか。

○片岡文化観光課長 実際には小さな陶器を作品とした備前茶わんという企画展を実施させていただきましたので、大きなものではなく、職員でも運べる程度の大きさのもので丁寧に、お借りするものですから職員が何人かで運ぶような形で、実際にはもう委託をせず職員で対応させていただいたというような格好になります。

○中西委員 その企画展の成果はいかがだったでしょうか。

○片岡文化観光課長 企画展自体は年度末2月から3月に実施しておりますが、来館者数については若干一定の平均よりは少し上回る程度ではあったと思います。

○中西委員 最後に、別紙4ページの文化施設費で私もびっくりしたんですが、当初の予算ではこれが文教と産業は一緒になっていた、今回は決算で分かれるわけですけども、この害虫駆除委託料、備前焼ミュージアム、この文化観光課が持っているような備前焼ミュージアム、害虫駆除の委託料とかというのはここは害虫駆除はしておられないんですか。

○片岡文化観光課長 昨年度は教育委員会のほうで一旦取りまとめをしているんですが、ミュージアムであったり、ほかの文化施設の予算で昨年度中途の8月頃から備前焼振興に移りまして、今年度から文化観光に移っているんですけども、恐らくこの害虫駆除はほかの他の施設ではないかと思うんですが。

○中西委員 つまり文化観光課は害虫駆除委託料を持っていると。これは大ケ池の上の施設だと思うんです。埋蔵文化財センターだと思うんですが、そっちはやっつけてこの文化観光課が持っている備前焼ミュージアムはやってない。僕は備前焼ミュージアムは害虫駆除が必要じゃないのかなと思うんですけども、あるいはこの文教の持っていた23万3,420円の中に備前焼ミュージアムも含まれていると。本来なら含まれていてもおかしくはないんじゃないかなと思うんですが、ミュージアムの害虫駆除は必要だと思うんで、その立場からお尋ねをしているんですけど。

ただ、これがスズメバチのような外の害虫駆除なら別ですけども、恐らく館内の害虫駆除だと思うんですね。

○片岡文化観光課長 害虫駆除については歴史民俗資料館と加子浦歴史文化館で害虫駆除を実施しておりまして、ミュージアムについては過去今まで害虫駆除は実施したことはありません。

○中西委員 それは担当課が違うんで、過去にもずうっと備前焼ミュージアムは害虫駆除なんかしてないんですか。少なくとも私はお客さんが遠方からも、あるいはこれだけの人数が入られるところであれば害虫駆除ぐらいはしておく必要があるんじゃないのかな、あるいは収蔵する、備前焼に虫がつくということはないとは思いますが、しかしそうはいつでも紙媒体のものもありますし、害虫駆除はされたほうがいいんじゃないかなと思うんですけど。

○片岡文化観光課長 害虫駆除というような言い方にはならないかもしれませんが、施設清掃委託料の中で通常の清掃であったり、年何回か館内での一斉清掃みたいなことは実施しておりますので、それが害虫駆除というような名称になるかどうかは分かりませんが、そういった形で清掃委託の中では清掃はさせていただいております。

○中西委員 清掃委託料の中にそういう虫の駆除なんかも含まれていると。じゃあ、この間備前市のいろんな施設の清掃委託なんかも入っていますけども、その清掃委託と害虫駆除というのは分かれているところもあれば一緒に入っているところもあるということなんでしょうか。

○森本委員長 暫時休憩します。

午前 11時58分 休憩

午後 1時00分 再開

○森本委員長 休憩前に引き続いて会議を再開します。

まず初めに、日生総合支所管理課長の横谷課長から発言があります。

○横谷日生総合支所管理課長 先ほど答弁させていただきました155ページの商工費、観光費の海ごみ対策事業委託料の73万7,360円の中に土木費、港湾費、海ごみ対策事業の鴻島の29万5,200円を併せて説明させていただいていましたので、ここで訂正させていただきます。

○尾川委員 備前焼ミュージアムの関係で、197ページの文化施設費、報酬でミュージアム運営協議会委員等報酬、予算に比べてかなり下がるとし、説明をお願いしたいんですが。

○片岡文化観光課長 備前焼ミュージアム運営協議会委員等報酬につきましては、運営協議会の委員報酬並びにミュージアム美術品評価委員の報酬を当初予算で計上させていただいておりますが、運営協議会については実施しておりますが、美術品等の購入がありませんので、その評価委員は実施しておりません。

○尾川委員 今の館長は誰になっとんですか。それで、どういう役割しよんか。報酬もある時期から安うてええ言われたんかどうかわらんけど、その辺の今後の館長についてどうお考えなんか。それで、今誰が企画を責任持ってやっとんかというのを説明してもらいたいんですけど。

○片岡文化観光課長 ミュージアムの職員に関しましては、現在臼井館長が昨年度同様継続をしていただいておりますが、あと学芸員2名、それから事務補助員として1名の4名で運営をして

いただいている格好になりまして、また今後ミュージアムの改修等もありますので、現状の館長には引き続き継続していただきたいと思いますと考えております。

○尾川委員 処遇はどういうふうに考えていくつもりなんかな。これからミュージアムの建て直しというのも一応計画としてあるわけで、そういうことになったらどう活用して今後の運営というのを考えとんかというのは示してもらいたいですけど。

○大岩文化観光部長 館長につきましては、会計年度任用職員ということで今は月5日ぐらい館のほうに来ていただいております。そういったやり方で今やっているんですけど、新たなミュージアムが建て替えになりますんで、今はそういったところの相談的なものをしていただいておりますし、また新たなミュージアムがもし建て替えて新築になって出来上がったときにはまたそういった新しい館長につきましても今後考えていかないといけないかなあとは考えております。

○尾川委員 任用職員ということなんじゃけど、報酬は幾らですか。

○片岡文化観光課長 館長につきましては、月5日で月額約5万8,450円ほどが12か月という格好になります。

○尾川委員 そのときの出勤日数によって上下するという。こっちの記録じゃあ令和2年度は3万2,500円ぐらいだったと記憶しとんじゃけど、違うかも分かん。というのは、今5万8,000円ということで上がったということ。日数が増えたから、上下するんですか。

○片岡文化観光課長 館長については日額になります。ですから、月によっては4日間であればその日額に合わせてということで、先ほど5万8,450円が令和3年度の実績ということになります。

○尾川委員 私は金額をようけ出せとか少のうせえとかというんじゃなしに、館長としての仕事はどういう企画力でやっていくかと。私は、よその美術館なんかの館長というのは結構いろんな新しい企画して、そら私は人数だけじゃねえと、評価は中身じゃと思うんですけど、費用対効果というのもあると思うし、どういうふうに企画をお任せして、どの程度、もう全部お任せしてしもうとんか、それとも部長あたりがかなり口出していきよんかなあというのを、その辺の話も聞かせてもらえたらと思うんですけど。

○片岡文化観光課長 月5日ほどは出勤していただく中で、各学芸員、館長も含めて企画展等企画をしていただくんですけども、そういったところに御意見であったり、展示する作品の内容であったりというところで館長の経験、そういった知識の中からたくさん御意見いただいて、どういう企画展にするか、内容を御意見いただいてというような格好にはなります。

○尾川委員 せっかくの人材で、私らよう聞いとるのは大切にせにやいけんよということをよう聞くんですよ。そんなことがあるからせっかく企画任せるんなら任せてしもうて運用していくことをやらんと、中途半端なこととして飼い殺しみたいなことをしたら適当じゃねえと思うんで、その辺を配慮してもらいたいなあと思うて質問させてもらいよんです。

○石原委員 令和3年度新型コロナ禍も大いに影響ありましたがけれども、令和3年度ミュージア

ム、学校教育活動の一環なんかで子供さん方を受け入れられたような実績等分かればお聞かせいただければと思うんですが。

○片岡文化観光課長 年間通して学校教育活動は続いて継続させていただいておりますが、季節ごとには暖かい時期、7月から秋頃にかけてですけれども、令和3年度の学校教育活動では学校教員さんの方も合わせて約500人程度が学校教育活動でミュージアムを活用していただいているというような格好になります。

○石原委員 コロナもあったり、それから学校の授業の一環ですから時間的な制約もありましようけど、ぜひとも今の備前焼ミュージアム、あとしばらくで新築という計画もございますけれども、だからこそなお一層今のミュージアムに少しでも多くの子供さんも、子供さんに備前焼がどう伝わるか難しい点もありますけれども、せっかくある施設ですんで、市内の子供さん方特に力を入れていただいて、一度はあそこを訪れて備前焼に触れてという機会をどんどん力入れていただきたいということ、これもう要望でぜひお願いしたいと思います。

○尾川委員 北前船は違うのかな。

○大岩文化観光部長 観光と絡めてでしたらうちのほうでということにはなりません。

○尾川委員 要するに、日本遺産が3つあって、北前船についてここも50万円決算されとんですけど、今度は160万円ぐらい予算があつて、今後の方向性というのはどうなっていこうとしとんですか、この北前船の取扱いというか。副市長も言よったように、下手したら外されるかもしれんというたりするようなことを、認定解除というか、何件かあつたようですけど、その3つも取組してからどれか捨てるんならあれじゃろうし、北前船に限って言えばどういうふうに関後やっっていこうとしとんかというようなことを聞かせてもらえたらと思うんですが。

○大岩文化観光部長 北前船のそういった負担金とかにつきましては、教育委員会で支払っているんですけど、私どものほうは北前船、49市町村が加入しておりますので、日本遺産としては、そういったところの連携を含めてお互い観光に力を入れていきたいなあと考えておりますし、このたびフランスのほうに行きましたのも北前船のフォーラムで行きましたんで、そういったところで備前焼であるとか、備前市の魅力について宣伝してきたところでもありますので、そういった北前船機構というところが観光のほうにも力入れておりますんで、そういったところと連携しながら今後進めていきたいなどは思っております。

○尾川委員 要するに日本として新潟とか、北海道とか、どこが一番中心になって事務局あるんかというのをよう記憶忘れたんですけど、そういうことを中心に運動を展開すると。例えば備前市にそういうフォーラムの全国大会みたいな計画をするとか、そんなのは今のところ考えてない。その辺のこういう流れというか、どういうふうに関後していくんかなあというのが気になって。構成体もどうしていくんか、構成体が増えていくことはないと思うんで、どういうふうに関後船というのを日本遺産としてもどういう位置づけになるんかなあというのがよう分からんというか、これからどう展開していくかというのをね。

○大岩文化観光部長 北前船のフォーラムにつきましては、持ち回りでいろいろと場所を変えながらやっております。来年の2月には沖縄でやりますし、それから令和5年度になりますと岡山でやるような計画もあるみたいですので、そういったところで備前市としてもそういった市町村と関係を深めながら、それぞれの市町村特産品がいろいろ持っておりますので、そういったことを含めて観光のPR、私どもは観光のPRをしていきたいと。

○森本委員長 範囲は最後までなんですけど、いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳入歳出併せて何か質疑漏れ等はないでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

説明員入替えのため暫時休憩いたします。

午後1時15分 休憩

午後1時25分 再開

○森本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、産業部及び都市整備部に関して審査いたします。

念のため所管別分類表に記載の所管の欄中、今回の対象課名について申し上げます。

農政水産課、産業振興課、上下水道課、都市計画課、市街地活性化政策課、建設課です。よろしく願いいたします。

それでは、歳入から行います。

決算書は18ページを開いてください。

所管別分類表は3ページです。

審査範囲は、18ページの森林環境譲与税から27ページまでを範囲といたします。教育使用料のところまで範囲といたします。

○尾川委員 18、19ページ、地方譲与税の森林環境譲与税で773万4,000円が決算されとんですけど、こんな数字が推移されるんですか。

○岡村農政水産課長 773万4,000円ということで今回歳入を上げておりましたが、令和6年度にはもう少し譲与税が増える形になります。

○尾川委員 どういう理由から増えるんですか。事業によって増えてくるんかもしれんですけど、そのあたり説明願いたいんですけど。

○河井産業部長 委員御指摘の件ですけれども、現在は皆様方から森林環境譲与税というものは徴収されておりませんが、先ほど課長が申しましたとおり令和6年度からは徴収が始まります。現在は国の準備金というものを活用して交付されておりました、国の予算ベースでございまして、令和3年度で申しますと全国で400億円、令和4年度からは500億円、令和6年度からは準備金と併せて徴収される新たな税と足し算して年間で600億円、これが平年度これから続いて、その後は、令和6年度以降は年間600億円程度で推移していく形になります。

現状で申し上げますと、私有林の人口面積であったり、林業者の就業者人口、それから人口案分、こういったもので計算されて算出してくるということでございますので、まだ若干もう少しこの先伸びしろがある状況でございます。

○森本委員長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

28ページ、農林水産業手数料から37ページの土木費国庫補助金までを範囲とします。

○尾川委員 27ページの公営住宅使用料、金額が決算が下がってきとんですけれど、公営住宅を取壊ししたり、取壊しというてそんなん入ってなかったと思うんですけど、現状報告がされとんかどうかあれですけど、その辺を教えてもらえたらと思うんですけど。

○小川都市計画課長 現在の状況ですけれども、年々入居世帯数が減っております。令和2年度290戸だったのが、3年度末現在では280戸ということで、入居世帯数が減っているのと同時に、なおかつ市営住宅につきましてはその棟の入居されとる方がいなくなったら取り壊すという方針で、新規の募集は吉永中とスワ団地のみにしてありますので、市営住宅に入られる人が少なくなり、新しく募集をしてないということなので、それに従いまして使用料収入も減ってっておるとい状況であります。

○尾川委員 じゃあ、全体としてはもう今吉永とスワ団地ぐらいは今後もそういう利用というか、活用するというので、ほかはもう要するにニーズとバランスが取れとんかなあというのがどなんかなあと思うて。もうあんまり市営住宅の活用者が少のうなとんかという、どういう分析されとんじゃろうかと思うて。

○小川都市計画課長 現在のところは特には決まっていませんけれども、結構市内には民間の住宅もあります。しかし、まるっきり市営住宅を新たににつくらないというのも政策的にセーフティネットの面から考えてもいけないのではないかと考えておりますので、新規のこともこれから検討していかなければならないと考えております。

○奥道委員 関連というか、市営住宅の入居者がいなければもう取り壊すっていうようなことを、事実それもだんだんに大ケ池の辺りの市営住宅も人がいなくなって減って行って、だんだんスラム化しつつあるんですけども、そこらについての対策等は考えていただいていますか。

○小川都市計画課長 取り壊した場所にまたそこに新たにということは、まずその地形的な要因、災害の警戒区域であったり、河川の洪水によって氾濫して被害を受ける区域であったりとか、いろいろな側面を検討して新たにほかの場所に建てるか、同じ場所に建てるか、いろんなことを検討しながら進めていきたいと考えております。

○西上委員 同じところの特定公共賃貸住宅使用料、去年は925万6,400円から795万6,100円ということで大幅に下がっている理由は。

○小川都市計画課長 特公賃なんですけれども、滞納者の方は同じです。明確な理由としてはまだ判断してないんですけども、コロナの時代で1年間の収入とかが減ったり、そういう部分が

影響しているのではないかと考えております。

○**西上委員** ということは、公共住宅地、公共住宅の中へ空き家があるということですか。

○**小川都市計画課長** スワ団地と吉永中団地で合わせて34戸の特公賃があります。しかしながら、入居していただいている世帯の方が17戸で50%です。なぜ17戸という数字になるのか、その部分を考えた場合に平均の家賃、住宅使用料が4万2,600円となっております。4万2,600円という数字を考えたときに同程度あるいは同等以上の民間の住宅を借りることが可能なことも多々ありますので、なかなか特公賃については入居率が伸びないのではないかと考えております。

○**西上委員** これからの対策として、50%ぐらい取る対策としては課長どのように、コロナの影響もありますからこの家賃を下げるとか、ハードルを下げていくとか、収入下がっていったんじゃから対策というのはどのようにお考えでしょうか。

○**小川都市計画課長** まず、毎月の「広報びぜん」に入居者募集ということでこの2か所については載せてあります。しかしながら、家賃を出すために計算式がありますので、そこを勝手に変えて家賃を下げるということはなかなか困難ではないかと考えていますので、できるだけ広報を見て入っていただくように、特に日生のスワ団地なんかは外から見るともう高級マンションみたいな感じなどもすばらしいところなので、どんどん入っていただきたいと考えております。

○**土器委員** 確認なんじゃけど、今時点から市営住宅、建設する予定はないということですね。民間のを活用してもらおうという形ですか。

○**小川都市計画課長** 新しく検討もしていかなければならないと考えております。

○**土器委員** 今時点では新しい市営住宅は考えてないということですか。

○**小川都市計画課長** 若干頭の中に描いている場所というのはありますけれども、どこかという部分についてはこの場では差し控えさせていただきたいと思います。

○**中西委員** 34ページの土木費の国庫補助金、収入未済額が出ていますけども、概略だけ教えていただけませんか。

○**大森建設課長** 浦伊部線道整備交付金をいただいた測量試験費を繰越しさせていただいております。

○**青山委員** 農業振興費補助金、産地生産基盤パワーアップ事業補助金、これの目的と内容をもう一度教えていただきたいと思います。

○**岡村農政水産課長** 東鶴山のブドウ部会の方2名の方が佐山と鶴海にそれぞれブドウのハウスの新設を行う補助金としてここに上げさせていただいております。

補助率は、事業費が1,545万74円の2分の1の額ということで720万400円ということで計上させていただいております。

○**青山委員** その下の費目の土木費国庫補助金の節の1道路橋梁新設改良費補助金、社会資本整備総合交付金、その前の年に比べてかなりアップをしているんですが、前の年が710万2,0

00円、これが3,935万9,000円、この増額の理由を教えてください。

○大森建設課長 一番大きいのは山田原蕃山線を幾らか実施しておりますので、そちらの分が増えているというのが要因だと思います。

○青山委員 山田原蕃山線で全額になるのでしょうか。

○大森建設課長 歳出のほうとしましては、山田原蕃山線は測量試験費とセリオさんの補償費等をお支払いさせていただいたので、そちらの財源として今回決算のほうへ社会資本整備交付金として計上させていただいております。

○青山委員 まだ工事が進んでないと思うんですけど、これどの部分の費用になるんですか。

○大森建設課長 こちらの歳入に充てている歳出としては用地補償費、倉庫なんかがあったと思うんですけど、そちらを取壊しさせていただいて、その金額が一番大きく約9,000万円ぐらいしか歳出であったと思います。

○青山委員 セリオの工場のほうの取壊しはされているんですけど、その後の工事に至るに当たってブロック塀とか、そういったようなものがまだ残ったままで進んでいないと思うんですけど、それはこの中には入っていないということですか。

○大森建設課長 それは令和4年度で実施で、これは令和3年度の決算なので、こちらの中には入っておりません。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、42ページ、衛生費県補助金から47ページ、土木費県委託金までです。

○中西委員 46ページ、土木費県委託金、河川総務費委託金、水門、樋門管理委託金38万8,100円が上がっていますが、県から委託を受けているこの水門、樋門というのは何か所ぐらいあるのでしょうか。

○大森建設課長 県から委託を受けている水門、樋門については13基ございます。

○中西委員 どこの辺りの川が一番多いんでしょう。

○大森建設課長 伊里川が3門、大谷川3門、西谷川2門、金剛川3門、八塔寺川2門でございます。

○立川委員 43ページ、農林水産費の県補助金で5節の林業振興費補助金、昨年林地災害防止事業補償金というのがあったんですが、林の災害防止なんですけど、これがなくなっている理由を。どっか組替えされたのか。

○大森建設課長 実施していないからでございます。

○立川委員 ということは、林地の災害防止ということなんで、災害を受けたところが全くなかったということですか。

○大森建設課長 こちらについては林地災害防止事業なので、災害復旧ではなくて事前に災害が起りそうなところを施工するというようなことがありますので、地元調整が整って県に要望で

きて採択された箇所を年次的にやっていくというようなものでございます。

○立川委員 しっかり視察、見回り等々御意見を聞いて的確な処理をいただけたらと思います。

続いてですが、これも同じところですが、ナラ枯れの被害防止が今年度214万5,000円ついているんですが、これも先ほどと一緒に被害があればつくというようなものでしょうか。

それと、その使用目的等々、単市でやるのか、共同でやるのか、そこら辺も教えてください。

○岡村農政水産課長 このナラ枯れの被害拡大防止総合対策でございますが、こちらの予算、費用のほうは県と単価協議を行いまして、10分の10でやっていくというような形で進めております。

○立川委員 10分の10っていうのは補助率だけだと思うんで、これもうちにナラ枯れが発生しましたよというときだけ申請するような補助金になるんでしょうか。

○岡村農政水産課長 県が年に一回飛行機を飛ばしております。そういった中で調査をして、ナラ枯れがある場所を現地等にも当然入っていくんですが、そういったところでナラ枯れの情報を得た中で予算化をしていくというような流れになります。

○立川委員 ですから、ナラ枯れが発生した都度県が教えていただけるということだと理解はしておりますが、県から補助金が下りてきて単市の事業になるんでしょうか、それとも近隣市町と一緒に組合でという事業になるんでしょうか。

○岡村農政水産課長 先ほども御説明いたしましたように県の補助金、単価協議を行いまして10分の10というところを財源に行っていております。

○森本委員長 市が単独でされるんかどうかというところなんですけど。

○立川委員 ナラ枯れというのは先ほど言いましたように空から見たり、かなり広範囲なところで発生していると思うんですが、今回は備前市の部分だけやれということなんでしょうか。それとも、近隣市町、例えば津山のほうとか、美作のほうとか、そういったところも多分ナラ枯れ発生しようと思うんですけど、そういったところと共同でやられるんでしょうか。それとも、市はこれ補助金もらったこれだけで備前市のエリアだけやられるんでしょうか。

○岡村農政水産課長 県下で何か所かナラ枯れがあるということはお聞きしております。そういった中で、備前市も当然行っていきますが、近隣の市町でも当然ナラ枯れがあればそこも対策をしていくというような形で進められると考えております。

○河井産業部長 例えば極端な話市の境一帯で発生していますよといった場合がありますと、近隣市町とここからここまでがうちですからってということじゃなしに、近隣市町と協力して同じ対策を取るの一般的なのではないかなと考えておりますので、たまたま今回は市の域の中でやっていますので、単独ではやっていますけれども、そういった隣接するような場合が発生した場合には、その自治体と協議しながら進めていくのが最善ではないかなと考えておりますので、状況によって判断してまいりたいと考えております。

○土器委員 ナラ枯れの件は日生と、それから吉永の奥のほうで何か発生しるというて前の産

業委員会で話があったと思うんですね。そんなん別々にするということやね。

○草加副委員長 43ページの2、農業振興費補助金のところで多面的機能支払交付金とありますけれども、これはどういった内容なのか教えていただければと思います。

○岡村農政水産課長 農地、水、環境の良好な保全と向上を図るため地域ぐるみで効率の高い共同作業の推進、長寿命化対策など農業者ぐるみで先進的な営農活動の推進に資する目的で多面的機能という事業がございます。

備前市の対象地区といたしましては、市内に10地区対象地区でこの多面を取り組んでいただいております。

○草加副委員長 具体的な成果は何かあるのでしょうか。

○岡村農政水産課長 皆さんでこういった取組をさせていただいていることにより、農地の長寿命化等々が図られております。

○森本委員長 ほかにありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が48ページ、財産運用収入、別紙1も参考にしてください。

それで、繰入金、森林環境譲与税基金繰入金まで、55ページまでを範囲といたします。

○中西委員 48ページの財産収入、財産運用収入、財産貸付収入、貸地料で別紙1、1万2,000円、農政水産課があるんですけども、どのようなものを貸し付けていたんでしょうか。

○岡村農政水産課長 頭島レストランの貸付料でございます。

○西上委員 49ページの利子及び配当金のところで作州かがみの森林組合の出資配当金5,790円の、幾ら出資しとんか、内容を教えてください。

○岡村農政水産課長 作州かがみの森林組合出資配当金でございますが、昭和46年に備前市が植林をしている山林、分収林58.76ヘクタールが鏡野町にございます。管理を作州かがみの森林組合にお願いをしておるところでございます。

森林組合の令和2年決算で利益の余剰金が生じた場合に配当というような形で今回5,970円が配当金として入っております。計算としましては、市の出資金額掛ける7%以内というような形になっております。

○西上委員 ちなみにこの森林組合の事業内容をもう少し具体的にお教えてください。

○岡村農政水産課長 森林の管理全般でございます。

○森本委員長 ほかにありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は56ページ、諸収入の労働融資貸付金元利収入から最後67ページまで、別紙2を参照にしてください。

○中西委員 64ページの農林水産業費雑入、跨高速道路橋梁防止対策助成金というのが159万円出ていますけれども、これはもう常にこういう形でお金が出てくる、橋梁を修理をするという

ことではなくて常にこういう形で出てくるものなんでしょうか。

○大森建設課長 こちらは認定外道路、市道以外の道路の橋梁の点検でございます。ここの案件については山陽自動車道に架かってある男松原橋というのがございまして、そちらのほうの点検を実施した際に補助が来るということで歳入となっております。

○中西委員 つまり山陽自動車道を上をまたぐ、この橋梁の点検費用だということですね。

続きまして、土木費雑入、ここでその他の雑入というのが12万6,200円入っていますが、その他の雑入というのはどういうものを指しているのでしょうか。

○小川都市計画課長 2種類あります。1つ目が、市営住宅の消火器を買う場合に補助金が下りるということで4万8,200円入っております。それから、移住・定住応援事業費補助金ということで移住の体験住宅、1日当たり1,000円というお金でその年間の合計が7万8,000円入っております。4万8,200円プラス7万8,000円で12万6,200円というお金となっております。

○森本委員長 ほかにありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に入らせていただきます。

決算書72ページ、所管別分類表は4ページを開いてください。

質疑範囲は72ページから79ページまでを範囲とします。

○丸山委員 79ページの13節委託料、測量調査設計等委託料で420万円、委託先はどこでしょうか。

○瀬口市街地活性化政策課長 これは旧アルファビゼンの跡地活用基本設計業務委託についてで、委託先が株式会社丸川建築設計事務所になります。

○丸山委員 1社だけのほうがよかったですかね。

○瀬口市街地活性化政策課長 この420万円は、アルファビゼンの業務委託として丸川建築さんに1,408万円という金額で委託をしております。そのうちの前払い金として420万円を支払っているところということでございます。

○中西委員 72ページの総務管理費、一般管理費、会計年度任用職員報酬、不用額が出ていますけれども、農林水産課あるいは産業振興課のところで会計年度任用職員というのは何か人数が減っているという、ここには影響はないわけですか。

○岡村農政水産課長 農業委員会の研修バス運転員の報酬ということで決算額8,750円がこれの中にございます。不用額といたしまして2,250円の不用額が出ております。

○森本委員長 次行かせていただいていいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、120ページから141ページ。

○尾川委員 141ページの負担金補助及び交付金の件で、建設労働組合補助金で26万2,0

00円、これは横ばいなんですけど、組合員数について教えてもらえたらと思うんですが。

○坂本産業振興課長 建設労働組合に関しましては、備前地区と日生地区がございます。

備前地区につきましての会員数は150人でございます。日生地区につきましては、48人となっております。

○尾川委員 令和2年を把握してないんですけど、令和元年の備前の会員数というのが148で、日生が46と記録しとんですけど、そうすると増えてきとると把握されとんのですか。こういう低迷しとって備前市はどっちかというたら下がってきよんですけど、それが建設労働組合の会員が増えてくるというのはどういうことなんですかね。

○坂本産業振興課長 令和2年度につきましても数字をお答えいたします。

令和2年度が備前地区で148人。それから、日生地区は45ということで微増という状況ではございますが、尾川委員おっしゃられますように増えてきているということですが、要因としては把握できておりません。

○尾川委員 事務所は瀬戸内のほうへ移って、仕事が多いからということなんで、そういう傾向でありながらこの組合数が微増になってくるという、観測というのはどう見られとんのですか。

○坂本産業振興課長 いずれにいたしましても、数字が増えているということにつきましては、備前市としてありがたいことかなとは感じております。今後ともこういった業種に限らず備前市の中で仕事をしていただく人が増えていけばいいのになあと感じております。

○尾川委員 ちなみにその補助金というのは1人当たりというか、業種というか、労働組合員数1名に幾らの計算になるんですか。

○坂本産業振興課長 1人当たりというものではございません。地区に対しまして一律ということで補助金を出させていただいております。金額は、備前地区が20万円、日生地区が6万2,000円となっております。

○中西委員 121ページ、児童福祉施設費、委託料ですけど、遊具点検委託料、この点検をしてその後何か不具合な箇所とかございましたでしょうか。そのまた対応はどうされましたか。

○小川都市計画課長 委託をした結果、その判定によりまして滑り台の撤去を今年度と昨年度で全て撤去をいたしました。それと、修繕とか撤去の必要な遊具に対しても対応をしております。

○中西委員 122ページ、その児童福祉施設費の負担金補助及び交付金の中で下水道受益者負担金が出ているんですけど、これはどこで発生したんでしょうか。

○小川都市計画課長 香登西地区にある城山の児童公園のトイレを水洗化して、そこに対する下水道の受益者負担金として頂いております。

○尾川委員 141ページの負担金補助及び交付金、和気地区雇用開発協会負担金で16万544円決算しとんですけど、その事業内容を具体的に教えてもらいたいんですけど。

○坂本産業振興課長 東備地域ということで備前市、赤磐市、和気町の2市1町合同で新規学卒者の合同就職面接会を実施しております。こちらに係る費用が計上されております。実施の回数

は2回実施しております。

○尾川委員 ガイドブックみたいなのは発行されていないんですか。

○坂本産業振興課長 チラシなんかをハローワークさんと共同しまして作成し、周知をさせていただいております。

○尾川委員 企業紹介という形で結構他の地区は、それがどこまで活用してもらえるかどうかというのはそれは別にして、備前地区というか、これは和気地区雇用開発というか、和気地区の2市1町のエリアでどういう企業があって、どういう業種があるかとかという紹介をする必要があるんじゃないかなという感じがするんです。今、なかなかこれやったって人は来ん言うんかも分らないですけど、新規学卒者に限らず中途採用も結構あると思うんで、ぜひそういうガイドブックというか、企業紹介の冊子みたいなものをやるべきじゃと思うんで、御検討願いたいんですが、御意見あれば。

○坂本産業振興課長 現時点でこの面接会のほうに備前市から8社が参加していただいております。そういった中で、たくさんの企業様から参加の意向は示していただいております、今委員おっしゃられましたような冊子、ガイドブックというようなものがあれば新規学卒者の方に市内の企業様を御紹介できると思いますので、検討してまいりたいと思います。

○尾川委員 ぜひ前向きに検討してください。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、140ページの農業費から151ページの水産業費までを範囲といたします。

○中西委員 142ページの農業振興費の役務費のところでは不用額が出ています。これは通信運搬費が当初の予算で10万6,000円というところが一番大きな原因かなと思うんですけども、何か事業との関係でこの通信運搬費はこんなに低くなったということなんでしょうか。

○岡村農政水産課長 こちらの通信運搬費でございますが、当初では財政課指示分ということで電話代を10万6,000円計上しておりました。それに対しまして決算額1万3,860円ということで不用額が12万6,140円といった内容になっております。

○中西委員 つまりここは財政が予算をつけたところだということなんでしょうか。

○岡村農政水産課長 財政課のほうでそれぞれの課のほうに振り分けがございます。その中で、農政水産課分ということで10万6,000円の指示分ということで当初予算に計上したというところがございます。

○中西委員 144ページ、農業振興費の負担金補助及び交付金、米生産農家経営継続補助金というのが出ています。金額も大きいですし、当初予算に出ずにこれは途中で補正がされたものだと思うんですが、途中で補正をされてこれだけの大きな金額ですから、その効果はいかがだったんでしょうか。

○岡村農政水産課長 申請数は165名、交付金額は1,197万2,800円、多い方ですと

金額で申しまして72万4,000円ぐらい、平均しますと1人当たり7万2,562円となっております。

この補助金の目的なのですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって令和3年産の米価が下落し、今後の就農意欲が減退し、作付をやめてしまうことを防ぐための支援として補助金を出しております。

○奥道委員 145ページの負担金補助及び交付金の中の農作物獣害防止施設設置補助金だったんですが、要するにイノシシのおりですか。

○岡村農政水産課長 獣害による農作物の被害防止のために、獣害防止施設を設置する農家に対して補助金を交付しております。こちらがおりというよりも防護柵、それから電気柵でございます。共同設置の場合は2分の1の補助、それから共同設置のできない場合で1施設が200メートル以上の場合には4分の1以内、共同設置で受益者が3戸以上かつ1施設が600メートル以上の場合には4分の3以内で補助金を交付するというような形で行っております。

○奥道委員 それじゃあ、大きめの農家さんと考えていいんですかね。小さいところじゃなくて田んぼや畑が大きいところが申請をして補助金頂けるということになるんですね。

○岡村農政水産課長 小さい圃場の方も当然補助の対象の中には入ってくるのですが、補助率が広域的に囲んだほうが4分の3といった補助率のいい率で交付金を受けることができますので、ただ小さい圃場でも率は低いですが、補助金を出しております。

○奥道委員 149ページの林業振興費、報酬の中に鳥獣被害対策実施隊隊員報酬7万2,000円とあるんですが、何人ぐらいの方が出動していただいているのか、あるいは回数はどうな感じなんですか。

○岡村農政水産課長 備前が10名、日生が3名、吉永が10名、計23名の実施隊の方をお願いしております。2,000円掛ける36日分でございます。

○奥道委員 日当2,000円ということなんですね。分かりました。

その下のところに委託料の中にある筆跡鑑定業務委託料というのがあるんですけど、これは一体何なんですか。

○大森建設課長 令和2年度に県営の事業で蕃山の治山堰堤事業というのを実施したんですが、その提出書類の中で筆跡鑑定を求められたので、実施したものでございます。

○奥道委員 文書の中でそういうことが必要だったということなんですね。申請書類の中で。

151ページ、負担金補助のところの有害鳥獣駆除奨励金2,600万円、具体的内容を教えてください。何頭ぐらい何がどうだったのか。

○岡村農政水産課長 鹿、イノシシ、その他の小動物の有害鳥獣の駆除に対する補助金でございます。

まず、1万5,000円掛ける1,237頭足す9,000円掛ける248頭で2,078万7,000円。それから、県境強化月間上乘せ分、10月分のみなんですけど、4,000円掛け

る211頭で84万4,000円、それから狩猟期間、11月15日から3月15日、4,000円掛ける1,197頭で478万8,000円、それから小動物1,000円掛ける435頭で43万5,000円、これを合計しましてこちらの2,685万4,000円といった内容でございます。

○奥道委員 数字全部伺って備前市大変な数の害獣がいるということをより実感できましたので、今後対策をお願いします。

○森本委員長 休憩に入ります。

午後2時34分 休憩

午後2時50分 再開

○森本委員長 それでは、委員会を再開いたします。

○河井産業部長 先ほどの鳥獣被害の詳細でございますけれども、後刻またこの決算の委員会はまだもう2日ほどあるかと思えますけど、それが終了される前までに資料提供のほうさせていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○青山委員 151ページの水産業振興費、13節の委託料の海ごみ対策事業委託料、委託先と内容を教えてください。

○岡村農政水産課長 委託先が一般社団法人みんなでびぜん、金額が29万9,200円、それから伊里漁業協同組合、金額が79万8,000円、日生町漁業協同組合、57万9,600円、それからあともう一つ同じ一般社団法人みんなでびぜんで16万円、それから同じく日生町漁業協同組合で66万2,400円といった内容になっております。

○青山委員 金額と委託先は分かったんですけど、先ほど文化観光課のほうで海ごみ対策の事業委託料ということでみんなでびぜんとか、日生漁協等にも頼んでいるということなんですけど、これは2つのところから同じ事業に出ているということなんですか。

○岡村農政水産課長 農政水産課のほうでは、穂浪漁協、それから備前市の沿岸部、大多府漁協区域といったこの3つの区域を海ごみの清掃を行っているところでございます。

○青山委員 海水浴場ということでまた別になるんですかね。

○岡村農政水産課長 こちらは総合支所で行っている海水浴場周辺の海ごみの回収とはまた別のものがございます。

○松本委員 一般質問とかでもやりましたけど、どれぐらい回収したとか、ごみはいつも出ますから年に何回したとか、その辺どうですか。

○岡村農政水産課長 こちらの海ごみの回収量ですが、トータルで1.82トンでございます。

回収日につきましては、まず伊里漁業協同組合が回収を行っていただいた部分に関しましては2月に2回行っております。それから、日生町漁業協同組合で備前市の沿岸部をやっていたのが9月に1回、10月に1回、同じく備前市の沿岸部で一般社団法人みんなでびぜんでいただいたのが2月に1回、それから大多府漁港区域で海ごみを回収していただいたのが、日生

町漁業協同組合で9月に1回、10月に1回でございます。

○**松本委員** 備前市沿岸部というてもう物すごい広いですけどね。曖昧な表現ですけど、何かそれについて沿岸部というたらどういう意味ですか。もう片上湾ずうっと日生含めて沿岸部という意味ですか。

実は、私も適当にやっているんですよ。ほいで、沿岸部を私漁協の人がごみを拾っているのをほとんど見たことないんですよ。だから、私非常に疑問に思うのはどれぐらい回収、ほいでごみを1.82トン、どうやって量るんかよく分からないんですけど、後の点検が非常に報告だけ受けて、そんな気がするんですよ。実際そして今でも私この前一般質問でもしましたけど、島の部分、さっき大多府島出ましたけど、島の部分はほとんど回収してないですよ。もうずうっといつ行ってもありますよ、海岸線を含めて。だから、そういう点では何となく今の報告と現実のどこまでやったんかということは非常に疑問に思うんですよ。

それで、例えば藻場の回収なんかでも、私一回見ましたけど、8時過ぎに漁船がでえっと出て、10時になったらぴたっと止まるんですよ。もう沿岸ほとんど残っていますよ。何となく何か補助金が出た、この範囲でやる、それでやったら時間来れば終わり、何となくそういうごみ回収事業というか、海ごみ対策になっていると思うんですよ。そういう点で後の点検をきちっとすべきじゃないかなと。ほいで、どこまで、どの地域をやったんかとか、地図で示してもらおうとか、その辺も含めて徹底してほしいと思うんですよ。どうでしょうか。

○**岡村農政水産課長** こちらの海ごみ回収でございますが、それぞれの委託先の漁協さん等々からは実績報告としてうちのほうに報告をいただいております。写真等々もつけていただいて、それでうちの事務局では確認しております。

また、回収量のトン数につきましては、処分をする中で最終処分場、それから八木山の処分場等々に搬入する際に計量を行っておりますので、そういったところからトン数のほうは把握しております。ただ、海ごみですから海に浮かぶような軽いごみが多いかと思えます。実際、先ほど御説明いたしました1.82トンというようなことでお答えをしましたが、実際のポリウムというのは発泡スチロールのようなものだとか、そういったものがたくさん出ておりますんで、このトン数以上にごみは回収をしているというところでございます。

○**松本委員** そしたら、私一回島周りを写真で撮ってきますから、それ見て判断してください。

私、今の答弁というのは報告だけ聞いてそのままにしている、実際どうなっているかというのは現実と報告と違うというのは非常に物すごい気になるんです。やった、やりました、予算こんだけ使いました、どこをやりました、現実はどうかというと決してもうごみは減ったように思わないんですよ。本当に回収したんかよく分からないんです。後日私持っていきますから、いつか。

○**尾川委員** 151ページの水産業振興費、負担金補助及び交付金で里海・里山ブランド推進事業の補助金で367万4,147円が決算されとんですけど、このあたりのことについて最近の

成果ですか、まだやられとると思うんですけど、詳しいことを教えてもらえたらと思います。

○岡村農政水産課長 こちらの里海里山ブランド推進協議会の補助金でございますが、まず日生諸島の地域活性化事業で46万555円、それから備前市里海里山ブランド推進協議会の予算3,500万円のうち決算額が326万8,092円という決算額なんですけど、この内容としましては、まず里海・里山の学習素材の映像作成、それからオリーブ開発、それからこのオリーブを使った商品研究開発、また海洋教育の委託費、それから里海・里山のPRの事業費、それから里海・里山づくりの活動助成費、地域の資源発掘事業費、研修費、旅費、需用費、役務費、備品購入費等々で326万8,000円の決算をさせていただいております。

○尾川委員 もうオリーブは物になっとんですか。

○岡村農政水産課長 今年実が幾らかはなっとんですが、まだ収穫をするところまではなっておりません。来年度にはある程度オリーブの実が収穫できるというふうにはお聞きしております。

○尾川委員 それで、今何人ぐらいでやられとんのですかな。

○岡村農政水産課長 今までは地域おこし協力隊でオリーブの栽培等々をしていただいたんですが、この地域おこし協力隊の方が3年間の任期が終わりました。この4月から今度は農業次世代、国の制度を使って一農業者としてオリーブを育てているというようなことになっております。

○尾川委員 実態はオリーブしよるわけじゃろう。要は、オリーブが物になっとんかなと思うてね。結構もう牛窓とか小豆島とか結構やって、この間もテレビでやりよったけど、オリーブが。そんで、もうどねえなっとんかなあと思うて。昔は学生か何かが結構協力して植林に来たりしとったというのは記憶にあるんじゃないけど。来年ぐらいになったら何とか集荷が上がって銭になるわけ。

○岡村農政水産課長 ただ、まだオリーブを搾ったりするような搾油機等々の導入まではしてないんで、そういった部分もこれから考えていかれるんじゃないかと考えております。

以上でございます。

○松本委員 今のことに関連してですけど、具体的な承認というのはオリーブしか出てないですね。ほんで、オリーブも今さっき答弁があったような、そういう段階ですよ。だから、物すごく市が進めるよう、具体的にどう進めていくかということじゃなしに、何となく自発的に始まって、ほなそれでもやるかという、そういう感じにしか受け止められないんですね。本当にこういうブランド商品をつくるというのはそれなりに市が焦点を当ててそこに補助金を充てるとか、そういう具体的なことが積極的にやられないと誰もやらないんじゃないかなと私は思うんですけど、どうでしょうか。

○河井産業部長 実際にブランド推進協議会のホームページもありますし、このオリーブだけではなくてそのブランドとしての認定された商品というものはそれなりにあるわけでございますが、ですから市が全部お手盛りでやるというんじゃないで、この協議会は民間の方々が入られて

こういったことをしてはどうかということを考えていただきながら事業を進めておりますので、すぐにその成果がどんと出れば一番いいんでしょうけれども、じわじわと今広がっているところでございますので、継続した取組が必要ではないかなと考えているところでございます。

○松本委員 今のは全然関係ないですけど、そこの下の項ですけど、19節になりますか。港湾整備県工事負担金、2,400万円出ていますけど、これは県の事業だと思うんですけど、その割にはこれ2,400万円というのは全体の事業のどれぐらいになるんですか。何%か何十%か。

○岡村農政水産課長 まず水産物供給基盤機能保全事業としまして頭島漁協、それから穂浪漁協、事業の内容としましては防波堤の機能保全工事を行っております。事業費が6,500万円、負担割合としましては国が50%、県が50%、市は県の負担の35%、負担金の額ですが、6,500万円掛ける17.5%で1,137万5,000円が頭島漁協と穂浪漁協分でございます。

それから、単県の漁港整備事業としまして、頭島漁港になるんですが、こちらも漁港の改修事業で事業費が8,000万円、負担割合が市は事業費の30%ということで、負担金額が800万円掛ける30%ということで240万円でございます。

○中西委員 先ほど、会議の始まる前に委員長のほうから鳥獣被害については一覧表でということで執行部に言われましたけども、私はぜひ新しい委員の方もおられますし、過去3年間ぐらいのものを比較して表を作っていたらと思います。

146ページ、この農地費の中でのハザードマップ作成委託料ですけども、これは結果的にどこどこマップが作られて完成しているんでしょうか。

○大森建設課長 令和3年度作成しましたのが下山池、平池、車坂池、持田池、光明寺上池、光明寺下池、光谷池、山田原池、繰穴池、西池、鳴滝池、おかず池、三ツ池奥池、三ツ池中池、三ツ池下池、化女谷池、西谷池、こちらのほうが防災重点でございます。18池。

それと、そのマップに入るところの防災重点以外として7池、併せてハザードマップを作成しております。そちらのほうは東谷池、車坂池、車坂上池、車坂中池、車坂下池、かじ谷池、片上口上池、片上口西池ということで、18と7で25池令和3年度にハザードマップを作成しております。

○中西委員 そのハザードマップは、影響のあるだろう関係の町内、そういうところには配付がされているんでしょうか。

○大森建設課長 こちらのため池のハザードマップについては地元へワークショップ等出向いてやっておりますので、そちらほうへ配付をしております。

○中西委員 また、後日一度聞かせていただきたいと思います。

148ページ、林業振興費、委託料、この一番下のナラ枯れ被害拡大防止総合対策事業委託料、これは去年、おととしぐらいからでしたか、こういうことが非常に起こっているということ

で対策が取られているわけですが、この現状とその効果はどうでしょうか。それと、今後ともこういう対策はずっと続けていくということになるのでしょうか。

○岡村農政水産課長 吉永町の加賀美の市民の森周辺30立米を令和3年度に伐倒薫蒸を行っております。今後、このナラ枯れ被害防止対策ですが、備前市内でまた新たな場所があれば、そういったところを引き続きこの伐倒薫蒸を行っていくというような形になってまいります。

○中西委員 伐倒薫蒸をやったということなんですけども、効果は現れているのでしょうか。

○岡村農政水産課長 伐倒してブルーシート等々で囲って中に薬剤を入れて虫を殺すという作業をしておりますので、そういった木の中に入った虫に対しましては薫蒸して減少しとるというようには考えております。

○中西委員 しかし、木の中に入っている虫は死亡するわけですが、地域的にそれが広がっていつているということはないのでしょうか。大丈夫ですか。

○岡村農政水産課長 全てが伐倒薫蒸できとるわけではございません。中には一旦虫が入って枯れる木もございますし、それから虫が出た後、また木が青々と復活していくというような木もございます。今回、伐倒薫蒸をやったのは道路脇の危険木を中心に伐倒薫蒸を行ったといった内容でございます。

○中西委員 林業振興費の委託料で先ほど話の出ました筆跡鑑定業務委託料、プライバシーを侵さない程度に筆跡鑑定の結果はどうだったのでしょうか。

○大森建設課長 今回行ったのは簡易鑑定ということで取りあえず実施をいたしました。そちらについては結果から申しますとほかの書類を書いた人と同一の筆跡ではないかという結果でございます。

○中西委員 その筆跡鑑定をすることが必要になったその問題のところについてはまだ決着はついてないと。

○大森建設課長 決着はついておりません。

○丸山委員 151ページの19節みどりの少年隊活動奨励金というのがあるんですが、この内容を教えてやってください。

○岡村農政水産課長 目的としましては、児童に草花や野菜の栽培をさせることにより豊かな感性を育てる、青少年の山林緑化に対する理解を含め地域の自然を愛する心を育むといった内容でございます。

○丸山委員 備前にその少年隊というくくりでどこか地区がありますか。

○岡村農政水産課長 伊部にみどりの少年隊と、備前みどりの少年隊とございます。

○丸山委員 いつ頃からっていう部分と、何人ぐらい今おられますか。

○岡村農政水産課長 すいません、人数等々は申し訳ございません。

○森本委員長 休憩します。

午後3時20分 休憩

午後3時22分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

ほかに。

○中西委員 150ページの水産業振興費、負担金補助及び交付金、今まで話題になっていましたオリーブのところですね。このオリーブやるときに本当にやれるんかということがすごい委員会の中でも出て、一つのブランドの推進事業ということで民間の知恵を小出しながらやっていくというのは一つの新しい方法には間違いはないんですけども、しかしそうは言えどもこれを一つのブランドにするというのはなかなかの応援がないと難しいというところでは、備前市の中の一つの起業、業を起こすという考え方での補助金だとか、あるいは援助の方法、民間も知恵を出すんだけど、こちらの行政のほうも何かの支える手がないかということでは一緒に考えていく必要があるんじゃないかなと思います。

○森本委員長 次行かせていただいていますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、150ページの商工費から165ページの港湾費までを範囲といたします。

○尾川委員 153ページの負担金補助及び交付金、商工会議所の補助金とか、セラミックセンター、令和4年度がOCCなんかはゼロになったということでいろんな要望書が出るところと出ていないところがあるんですけど、これから先の考え方というのは、それと今までの評価というんか、4月から走っとなんですけど、そのあたり半年ほど動いとんで、この決算と予算、令和4年度の予算とのそういった動きについて担当者としてはどういう考え方して今後、来年の予算に絡むと思うんで、市長の考えはあるんじゃないと思うけど、どうされるのかなあという感じがあって、動きよんじゃからええがなということになるんかもしれんですけど、その辺を所見をお伺いしたいんですけど。

○坂本産業振興課長 今、委員からいただきましたお話につきましては私たちもすごく頭を痛めているところです。そういった中で、商工会議所、商工会、東商工会、それから岡山セラミックセンター、海運組合、こういった団体さんの補助金のところを指してお話をいただいたと思っております。

今年度に入りまして、商工連絡会という皆さんと意見交換、情報交換をする場を設けておりまして、今後この当初予算の作成に向けてまたそういった場を設けて、意見交換をしたいと考えております。また、個別にそれぞれの団体さんに足を運んだり、こちらへお越しいただいたりしながら意見をいただいているところです。

そういう中で、現状非常に厳しいという団体さんもあれば、そうでなく、まだ補助金はなくてもいいんじゃないかというような団体さんもあるように感じております。そういった中で、それぞれに合わせまして今後予算計上を検討してまいりたいと考えております。

それから、引き続き協議は進めてまいりますが、今後どのような予算計上になるかというのは

私どももはっきり今見えてきていないというのが正直なところです。今後は、要望書など頂いたりすることもあるかと思えます。そういったものも踏まえて協議をしてみたいと思います。

○尾川委員 議会にもたしか要望書が出るところと出ていないところがあるんじゃないけど、その辺も議会としての立場というのを明らかにしてねえと思うんですよ。一応、要望が出たら結構積極的に、前向きに捉えて取り組んできたという、そういう印象があるんですけど、そういうのをどうバランス取るのかなあというのがね。あまりあからさまに言うと当たり障りがあるんで、物ば挟がったような言い方するけど、そういうこともあるんで、議長はどねえ扱いしとんか知らんけど、出とると思うんです。市のほうにも要望書としたら当然出てきとると思うんで、その辺の対応をしっかりと、ある対応だけはしっかりとやるけど、ある面は軽う見ていくというようなことのないように、公平性というのは大事な要素やと思うんで、ぜひそういう進め方でやってもらいたいと思うんですけど、いかがですかね。

○坂本産業振興課長 委員のおっしゃるとおりだと思います。今後ともそのように協議をしてみたいと思います。

○内田委員 19節の負担金補助及び交付金の中の会議所補助金、下のほうへ小規模事業者持続化支援補助金216万9,000円、これは何社を対象にしとるんですかね。

○坂本産業振興課長 会議所を通じたものが19件、東商工会を通じたものが8件、合計27件が実績値となっております。

○内田委員 応援したところでその後経営はうまくいっていますでしょうか。

○坂本産業振興課長 こちらの件数、全てが当たっているわけではございませんが、会議所、商工会、それぞれを通じて補助金を出しているというものですので、今後ともそちらの団体と意見交換を交わして状況を把握していきたいと思えます。

○石原委員 その上の13節委託料でございますが、ポイントカード発行等業務委託料、委託先はどちらだったのでしょうか。

○坂本産業振興課長 株式会社日本旅行さんをお願いをしております。

○石原委員 たしか5,000円お買物をされたらスタンプで1,000円分お得がついてくる事業だったかなあと思うんですけど、こちらの事業の実績、効果というか、評価をお聞かせいただければ。

○坂本産業振興課長 事業の実績といたしましては、144店舗加盟をしていただきました。予算に対しまして75.5%の執行率でございます。こちらの加盟店さんに事業が終了いたしましたので、その後アンケートを実施させていただきました。そういう中で、約半数以上が今後ともこういった事業を継続して地域の経済対策をしてほしいというような回答を得ておりまして、おおむね良好な事業だったと判断をしております。

○石原委員 枚数というか、市民の方が何人かとか、スタンプをぺたぺた押されたのがどれぐらいかといったりするのは、またの機会で教えていただければ参考として。

それから、その下の地域商品券関連業務委託料、こちらの委託先は。

○坂本産業振興課長 こちらも同じく株式会社日本旅行様です。

○石原委員 こちらはマイナンバーカードに関係する5,000円の方でしたかね。こちらの実績とかというたら分かりますかね。

○坂本産業振興課長 こちらにつきましても、加盟店さんが89店舗となっております、大型商業施設は対象外とさせていただきました。金額でいきますと79.2%の執行率となっております。こちらでも事業終了後にアンケートを実施いたしまして、こちらと同じように回答は得られておりました、おおむねこちらでも事業としては好評をいただいたと感じております。

○石原委員 こちらも中身、詳細についてこの事業がどれだけ目的に寄与できたのか、そういうところも含めてまたの機会にお聞かせいただければと思います。

それから、先ほど取り上げられておりました19節の負担金補助及び交付金で備前商工会議所補助金、当初予算では1,220万円だったと思うんですけども、少し減額となっておりますけれども、こちらの事情についてお聞かせいただければ。

○坂本産業振興課長 備前焼等地場産品販路開拓事業というものがコロナの影響によりまして実施できなかったということで、事業費補助部分での100万円が減額となっております。

それから、あともう一事業ございまして、そちらが50万円なんですけれども、実施できておりません。ということで、150万円の減額となっております。

○石原委員 ここでは備前商工会議所と、それから商工会さんへの補助金について、こちらも予算可決後どのような流れ、手続でもって相手方へいつどのタイミングで令和3年度は交付されたのか、お聞かせいただければ。

○坂本産業振興課長 交付申請を4月にいただきまして、同月において交付決定を行っております。そちらの額を概算払いということで商工会議所、東商工会につきましては規定で定めております8月に概算払いをさせていただいております。

○石原委員 こういった団体さんへの補助金交付される場合には、先ほどちらっと言った規定、規則、要綱のようなものが全てではないんかも分らないんですけど、整備されとる補助金もあるということでしょうか。

○坂本産業振興課長 こういった運営補助という部分でいきますと、定められていないものというのが多くあるのではないかと感じていますが、こちらの会議所、商工会の補助金につきましては、内規という形で定めているというのが現状でございます。

○中西委員 152ページの商工振興費、負担金補助及び交付金で新型コロナウイルス感染症対策雇用支援一時金が出ていますけども、これ事業所の数あるいは対象の人数を教えていただければと思います。

○坂本産業振興課長 従業員の雇用がある場合と雇用がない場合ということで金額の設定が変わっております。従業員の雇用がある場合は25万円、従業員の雇用がない場合は15万円として

おります。件数につきましては、雇用がある場合というのが69件、雇用がないという場合が165件ということになっております。

○**中西委員** 備前の商工会議所の補助金あるいは商工会の補助金、岡山セラミックスセンターの運営費補助金が計上されているわけですが、もし実績報告等でそれぞれの決算が分かりましたら教えていただけたらと思います。

同時に、商工会議所の補助金については内規があるということでしたので、一度配付をお願いできたらと思います。

○**坂本産業振興課長** 内規のほうはお出しできるかと思います。それから、実績報告での書類につきましては、関係のある箇所、ない箇所というのがございますので、各団体さんとそこは確認をさせていただいた上で提出のほう検討させてください。

○**中西委員** 160ページ、負担金補助及び交付金のところで国道374整備促進期成会会費というのが出ていますが、口座に幾らぐらい残っているのか、そしてこの期成会によってこの年度に何か新しい動きが、4年度にはこういうことをやろうというようなことが決まったものがあれば教えていただければと思います。

○**大森建設課長** 会のほうの決算、令和3年度決算といたしまして、歳入が24万2,299円、歳出が7万3,349円ということで16万8,950円を繰越額として行うということを報告を受けております。

令和3年度に和気町内の交通安全施設の補償費と工事を55メートル実施しております。令和4年度は引き続き50メートルの用地補償工事を行う予定と聞いております。

○**中西委員** 例えば国道374であれば伊部地内の下り松辺りの歩道ですよね。そういうものは全く進んでない、一回工事が行われて中途半端に終わっているわけですが、あの後延びるといようなことはこの会議の中では話をされていないのでしょうか。

○**大森建設課長** そちらのほうについてはこの374の期成会では話はしておりませんが、県要望で市として着工をお願いしているのが今の状態です。

○**中西委員** この374号の整備期成会、繰越しが16万8,000円ほどあると。トータルで今どのくらいの金額が残っていますでしょうか。

○**大森建設課長** すいません、そちらのトータル額については後から報告をさせていただきます。

○**中西委員** 同じところの国道2号の整備促進期成会ですが、何か前進があったのでしょうか。昨年はたしか備前大橋を越えたところの信号機が、将来移設がされるような話は伺いましたが、何か前進があったのでしょうか。

○**大森建設課長** 国道2号の東部期成会につきましては、吉井交差点の事業については用地買収が完了しましたという報告を受けております。今年度から工事着手する予定と聞いております。

あと、香登西地区の歩道整備事業につきましては、一般県道牛文香登本線との交差点から香登駅前の交差点の工事を実施したという報告を受けております。

○中西委員 香登の歩道の改良工事ですけども、3年度でまだやっているということですか。

○大森建設課長 引き続き実施しております。

○中西委員 同時にこの整備促進期成会の負担金の残額をまた教えていただけたらと思います。

○大森建設課長 すいません、残額については2件併せて報告をさせていただきます。

○尾川委員 関連で、備前大橋の交差点の改良というか、国道2号の拡幅というのは前から聞いてんですけど、今説明で今年度から着工ということになったと理解したらええんですかな。

○大森建設課長 吉井交差点の整備につきましては8月に工事を着手したと、契約できたという報告を受けております。

○尾川委員 吉井交差点というたら備前大橋を渡って西側のところを吉井交差点というわけ。それで、一応これも大分10年ぐらいかかるんじゃないだろうけど、そうかからんのかもしれんけど、いつ頃完成予定で計画はなっとんですか。

○大森建設課長 吉井交差点については資料を頂いているんですけど、工事期間がまだ入ってないので、そちらのほうはまた国へ確認いたしまして報告させていただきます。

○尾川委員 要するにあそこも備前市に来る人が多いわけですね。交差点で渋滞するから労働力の確保という面からもできるだけ急いで早う、もう少し早めに関係ねえわという意識は持たんようにぜひ。備前市に来る連中というんが渋滞したらこっちに働く人が少のうなるよということも少しは考えてもらいたいということで、対応を急いでもらいたいんです。

○大森建設課長 国道2号岡山県東部期成会につきましては備前市が事務局をしておりますので、東部の範囲内について国へ全体的な改良の分の要望をしていきたいと思っております。

○中西委員 160ページの道路維持費、委託料の街路樹管理委託料というのが90万円、決算では出てきてないんですけども、これは何かほかの金額で置き換えられたんでしょうか。

○大森建設課長 こちらについては今お世話になっている現業さんのほうで幾らか実施をして、トータルで支障木等のほうで執行させていただいております。

○中西委員 例えば当初の予算で言えば支障木は120万円、決算では200万円ですからその差額がこの街路樹の管理委託料の部分ぐらいに当たるということなんですか。

○大森建設課長 支障木につきましてはいろいろ要望がございまして、職員等でできないところを委託をお願いしているような箇所がありますので、街路樹のほう、都市計画道路ですね、あちらのほうは比較的現業さんでもできる場所がありますので、そちらのほうを現業さんでお願いをして、外部委託するような危険な支障木への実施について増額させていただきました。

○中西委員 それはどっか補正を組まれたんですかね。

○大森建設課長 こちらについては需用費の委託料という中の枠で全体を捉えて実施をさせていただきました。

○中西委員 議会の権限の及ぶ範囲ではないと言われればそうですけども、そういったことは委員会には何かお話はされておられたんでしょうか。

○大森建設課長 委員会で報告はいたしておりません。

○中西委員 その下の工事請負費の市道の補修工事は、当初予算では1,550万円、今回決算ではその倍以上の金額が出てきているんです。不用額も出ていますけども、市道の補修工事、これなかなかいろいろ御要望のあるところでよくこれだけのをされたと思うんですけども、この金額当初予算から見ますと倍以上になってますんで、その理由についてお尋ねをしておきたいと思えます。

○大森建設課長 こちらにつきましては、繰越しの予算がありましたので、そちらと併せて実施をさせていただいております。

○尾川委員 視点が違うんですけど、予算決算審査委員会で今年の9月にいただいた時間外の勤務と休日勤務の手当について、土木費の関係でお伺いしたいんですけど、もろうたデータが手元にないかも分らないんですけど、令和3年度の1人当たりの総時間数が214.5ということで、それから令和2年の比較が109.4という作業時間になつとんですけど、この辺はどういうふうに課長見られとんかなあと思うて。お手元にないかも分らないんですけど、分かる範囲内で答え願いたいんですけど。

○大森建設課長 技術者が設計する上で、現場に合わせていろいろ難易度が違うと思えますので、またついている予算等につきましても外部委託をしているもので積算だけするものと、職員が現場に出向いて設計をするもの、また皆様、区長さんを含めて地元要望が大変多ゆうございますので、地元へ出向いて、昼間出向いて区長さんとお話をして、その後帰ってきて会議を行うというような形で時間外が多くなっているのかもしれない。

○尾川委員 時間が多いのは数字で見たら分かるんじゃないけど、要は定員というんか、そのあたりが無理しとんじゃねえかなあ。人によつたら214.5というのが多いんか、少ねえんかという問題があるんじゃないけど、ただ要因がその辺の配慮というのがあるんかな。そんなこと言うたらどこも人足りやへんというて言われるんじゃないけど、そういう配慮について部長どないお考えなんですか。109が214になつとるといふ、1人当たり。それから、それが多い少ねえ、どう判断するかというのもあるんじゃないけど、要するに要員不足じゃねえんかというのを指摘しよるわけです。

○大森都市整備部長 委員おっしゃるとおり、職員は一生懸命頑張っておりますが、議会のほうでも御質問あつたりいたしましたので、非常に要望が多くなっておりますので、夜遅くまでやっている職員もおります。そのあたりは増やしていきたいというのがありますので、そのあたりは担当の課と協議しながら進めていきたいと思えます。

技術職員もなかなか募集はしておりますが、なかなか来られないというような状況もありますんで、そういったあたりも併せて担当課とまた協議をしていきたいと思えます。

○尾川委員 こういう表も毎年出してもらいよつて、感覚的にも減りよつたら分かると思うんじゃないけど、こつちは数字で見えていかざるを得んかなあというんで、病気にならん程度には仕事せに

やいけんと思うて要らんお世話じゃけど、指摘させてもらいよんです。

○森本委員長 休憩入ります。

午後3時54分 休憩

午後4時09分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○大森建設課長 後から答えますといった分で吉井交差点の工事期間なんですけど、令和6年までと、一応工事の期間ですね、吉井の交差点の工事の期間、令和4年8月から令和6年度末というのを国のほうから回答をいただいております。

それと、国道374号の期成会の残金ですが、決算なんで、残金を総額で繰り越しておりますので、16万8,950円が残金でございます。

私どもの国道2号の期成会ですが、81万5,174円となっております。

○中西委員 吉井の交差点の改良は、前回、去年お伺いしたときは現在のガソリンスタンドのものと西側とお伺いをしているんですけども、現在の交差点はなくなるんでしょうか。今のままありながら、新たにガソリンスタンドの向こうにもできるということなんですか。

○大森建設課長 今のままの交差点が残って、新たにそちらへ交差点ができるというような形をお聞きしております。

○中西委員 2号の渋滞の大きなところは備前大橋のところは私は走ってみてつくづく思っているんです。備前大橋を越えて向こうの岡山市に入ってしまうとそんなに混むことはない。あそここのところで信号が2つもできてしまうとまたまた備前が岡山から遠くなってしまうということになりかねないのではないかとするのはすごい私は危惧を持っているんですけども、それは今回の決算ですぐ出てきている金額ではないんですけども、恐らくこの期成会の中で話がされてそういう形にはなっているんでしょうから、それについて備前市はどのように見解を述べられたんでしょう。

○大森建設課長 こちらのほうの計画につきましては、要望し国が整備するものなんですけど、信号が連続するというような形ではありますが、信号については警察も時間的なものを配分して行うと思いますし、今の吉井の交差点の現状としては西へ行く分、車ですね。そちらが右折するときには備前大橋のところをずうっと渋滞するような形が多いと思いますし、そちらのほうで対策、交差点の改良を行うということは全体の渋滞としては緩和できる形を考えてくださっていると思います。

○中西委員 信号は2つじゃないと思うんですよ。今度3つだと思うんですよ。というのは、備前大橋のこっちのたもとにあるやつ、東側にある信号と、何しろあそこ結構時間がかかる。あそこ、それから橋はもうどこにも逃げられないわけですから、信号があつて、もう一つガソリンスタンドのある向こうにもできると。これ3つもなってくるとこれは絶対この備前市にとって岡山に行こうとする車は、これは絶対時間がかかると思うんですよ。ぜひそのない

ように、課長おっしゃられたようにスムーズに流れるようお願いをしておきたいと思います。

○大森建設課長 最終的に図面を提出できるものがあれば提出させていただきます。

すいません、吉井交差点、古い交差点のほうは閉鎖して、振り替えて向こう側へ回すというような形を取られるみたいですね。すいません、私が古い図面を覚えておりました。申し訳ございません。

○石原委員 土木費に関して市道の新設改良工事その他もろもろ、様々な工事、事業、一覧が資料で本年度も頂いております。参考までに15ページに市道新設改良工事一覧がございますけれども、この事業のうち令和2年度からの繰越しの事業というたらどれになるのでしょうか。

○大森建設課長 すいません、それは後から報告をさせていただきます。

○石原委員 でも、小っちゃいあれですね。ほか何件でというような表現があるじゃないですか。そこなんかも具体的にここがここ、ここ、ここみたいな表現をしていただいて、さっきのお答えと一緒にお願いすることは可能でしょうか。

○大森建設課長 その他というのは多分金額の小さいものですが、積み上げがあるので、お出しできると思います。

○石原委員 先ほど、残業なんかのお話の中でも現場の確認、それから要望も多岐にわたり件数も多いし、そちらへの対応もあってということなんですけど、土木行政というか、こういった市道、河川、そういったところの維持管理であったり、修繕であったり、改良であったりということあたりはどんどんどんどん遅れ遅れになったり、支障を来しとったり、そういうことはないのでしょうか。市民としても安心して、幾らかそれは繰越しは出てもきましようけれども、傾向としてどんどんずれ込むような気がしておるんですけども、このあたりいかがですかね。

○大森建設課長 工事につきましても標準断面といって一断面を書いて出せるものとか、断面がたくさんあってそれを積み上げていくような場合があるとか、場所によって違いますので、一概には言えないですが、積算を含めてよりシビアになっているのが現状ですので、慎重に職員等もなっているんで、どうしても一つの事業に係る時間、積算等含めて長くなっているんで、全体的に遅れ遅れの発注になっているように思われます。

○石原委員 もうコロナも長いし、あらゆるものも物価も上がったり、燃料も上がったりで、建設費に関してかなり令和3年度のところから影響も受けていると。その影響はますます大になってくるであろうというような状況なんですかね。

○大森建設課長 当然、物価がこれだけ上がっておりますので、コンクリートまたは2次製品等も上がってきております。あと、工事自体の標準積算による経費等も経費の上積み、率の上積みですかね、そちらのほうもなっておりますので、メートル当たり、平米当たりの単価っていうのは基本的には増加傾向にあるということでございます。

○森本委員長 ほかに。

165ページまでで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、164ページからの都市計画費から171ページの住宅費の宅地造成分譲事業費までを範囲といたします。

○尾川委員 169ページの住宅費の負担金補助及び交付金について資料を頂いておるんですが、備前市若年夫婦世帯家賃補助金、これ見て補助期間が3年から1年に変わったんですが、その後令和4年度はまだ中間地点過ぎたぐらいですけど、補助期間を3年にしたことが幸いしとんかどうか、そのあたり担当者の方に御意見をお伺いしたいんですけど、まず。

○小川都市計画課長 まず、1年から3年に上がった場合に3年度は年間18世帯数で、4年度はこれ半期で23件です。単純に倍にすると46件、40件近くいくということであります。全体、平成27年度から令和4年度までをざっくり見ていただくと、27、28、29は40、61、87ぐらいで推移していますけれども、その間が1年間の期間ていうのが低くなっていると感じられます。担当課としましては、補助期間が長いほうが家賃補助の制度を使ってくれる人が多いと考えております。

○尾川委員 ということは、来年度も3年というのは継続の考え方で今のところおられると理解したらええんですか。

○小川都市計画課長 3年というのは36か月分なんで、今年度申し込まれた方は申し込まれた月から36か月分頂けると、家賃を補助されるということになるんで、3年間続くということで理解をさせていただいて結構です。

令和3年度には18件となっております。これも例えば令和3年8月に申し込んだ場合には12か月分ということで、令和4年7月まででもらえるということになっとなんで、単年度だけでなく申し込んだ月からの12か月間、申し込んだ月からの36か月間と考えてください。

○尾川委員 3年することがまだこの制度の活用というのは期待できると理解されとるようにお聞きしたんですけど、私はまたあんまり関係なしに下がってくるのは備前市の入居者というのがこんなもんかなあという全体的に雰囲気としてかなあと思うとるとという個人的な意見です。

それともう一つは、どの程度家賃の補助でそういう市営住宅も減すとか、こういう活用のほうにいくということで、備前市のそういうアパートというんか、マンションの需要というのはどうに理解されとんです。どの程度景況というんか、影響があって刺激しとるかというふうな、定着も定着なんですけど、そういう面は空き家というか、アパート、マンションの活用ということの面から見たときにどう理解されとんですか。数は20、30という大したことねえというんかも分からんですし、そういう市場の影響というのは。

○小川都市計画課長 まず、家賃補助自体の効果としてお渡ししている資料の中には金額を書いておりません。ざっくりと計算をしたんですけども、1年間補助した人は1人当たり1か月8,307円補助したことになっております。3年間補助した人は1人1か月当たり6,710円補助したという形になっております。そこでこの金額が効果があるもんかないもんかというも

のを考えました。そしたら、今年度決算の収入の中の市民税がたしか49億円ぐらいあったと思うんです。それを人口3万2,000人、また12か月、1か月当たりになるとたしか1万2,000円から1万5,000円ぐらいになったんで、この家賃補助は確かに点的なものであると思う可能性があるんですけども、これ自体一定の効果があると思います。

次に、この家賃補助から若年者新築補助をされた方は令和4年9月末まで、7年間半で374世帯あって、家賃補助を利用された方が。このお渡ししとる表の一番ここにあると思うんですけど、そのうち新築補助を利用された方が73世帯で19.5%ということで、大きくつながっているとは考えることはできないと思いますけれども、この政策をやった場合とやらなかった場合を考えた一歩手前のことを考えると、73世帯の人が使って新しく家を建てたと考えれば効果があると考えておりますし、それから新築補助につきましては、1,000万円以上かかった場合には100万円、10分の1、100万円もらえるんですけども、過去7年間半で325世帯、1年間平均でたしか43.3、40世帯から45世帯ぐらいの人がこの新築補助100万円をもう市から支給されて、補助されて建てていただいています。

この政策につきましてももしなかったらということを考えると、325人掛ける備前市の1人当たりの、1世帯当たりの人口が2.2人か2.3人だと思うんで、700人近くなると思うんですけども、そういう人、700人の人は税金を納めてくれます。それから、備前市内で一定の経済活動をしてくれますというふうな前向きな考え方でいくと十分に効果はあるもんじゃないかと考えております。

○石原委員 この事業で対象者が県外からの転入者に限るとか、市内の方は駄目ですよという期間はいつだったですかね。令和3年度かな。

○小川都市計画課長 若年者家賃補助ですけども、対象は民間の集合住宅、コーポは県外の人だけで、一戸建て、戸建ての賃貸の住宅は市内外を問わないということにしております。

○石原委員 令和4年度の話したらおえんのかもしれんけど、ここで言うたら令和3年度だけであったですかね。集合住宅は県外からの方だけですよというのは。

○小川都市計画課長 3年度と4年度です。

○石原委員 4年度はまた今度にします。

それから、替わって同じページの委託料で債権回収業務委託料で当初の予算よりかなり減ともなっておりますけれども、これ毎年何かお話ししよんか、こちらの業務を神奈川県内か横浜の事務所へ委託をされて回収に当たっておられたかなあと思うんですけども、今もそれは変わらないですか。

○小川都市計画課長 今も同じく弁護士事務所さんのライズさんというところに契約をしております。

○石原委員 これも毎年お話しして、そこの弁護士事務所さんから封筒が届いたときに、神奈川県内の弁護士事務所からいきなり届くもんで、今の御時世なんで、届いた方はもうあまりにもびっ

くりされて何の封筒だろうかというところで、そこの配慮をお願いできませんかというときに毎年の課長さんが検討しますみたいなことだったんですけど、今幾らか配慮がなされたり、改善されたり、そこはどんなんでしょうか。

○小川都市計画課長 突然届くというよりも、家賃の請求書、納付書を送って、その期限までに納めてくださらない方は次の段階に督促状を送ることになります。その中に滞納が続く場合には法的な手段を行うことがありますと明記してあるんで、滞納される方はどういう事情があるのか分かりませんが、複数なんか特定者に固まるとんかというのもまだそこまでは把握してないんですけども、しっかりと市営住宅係としては突然ではなくてもう毎月ちゃんと住宅使用料の納付書を送るようにして、遅れていたら裁判までいく可能性もありますよということを繰り返しやっております。

○石原委員 いろんな事情もあろうかと思うんです、中には。かなり以前にお身内の方が生まれとって、何年もたってそういうものが届いたり、いろんな事情もあると思うんですけど、そら払わにゃおえんのんですけど、その過程の中であくまで備前市の市営住宅の使用料でしょうが、もう一個手だてとかあったほうがええんかなあということは感じるんですけど、いろんな事情もありましようから引き続き御検討いただいと。それからすいません、その下の移住調査宿泊費補助金ございますけれども、こちらの実績、それからその下の結婚新生活支援事業補助金のこちらの実績もお示しいただけたらと思うんですが。

○小川都市計画課長 移住調査宿泊費補助金は25件分であります。結婚新生活支援事業補助金は13件分です。

○石原委員 移住の調査のために訪れた方、宿泊費でしたか、補助がされるんでしょうけど、ここから移住につながったというおめでたいケースなんかは把握しとられたりというのはあるんでしょうか。

○小川都市計画課長 先ほど25件と申しました。重複されとる方が3件、3世帯おられて、22世帯の方が実際に利用されました。そのうち9世帯の方が備前市のほうに住んでいただいております。9世帯のうち3名の方が地域づくり協力隊ということで現在備前市のほうで頑張っております。

○石原委員 また、詳しく教えてください。

○中西委員 今の神奈川県弁護士事務所の話ですけど、私は4年前にこの問題をここで取り上げさせていただいて、本当に当時一律のはがきで通知がされて、来た人はもう本当にびっくりしたと。今、来ている方の話を聞くと昨今の振り込め詐欺みたいなものと紛らわしいと。行政を名乗ったりいろいろしてきているというようなところが私は大きいんだろと思うんですよ。市のほうは、法的な措置を取りますよということは言うてはおられるんでしょうけども、でも弁護士事務所から来たら、ほいでこれを読むとどうも何か臭いと思うんじゃないでしょうか。その中に例えば一筆吉村武司市長のお名前でお名前を払うように弁護士事務所へ頼んでおりますというものがあ

れば、顔写真でもつけてあればもらった人も納得がいくんじゃないでしょうか。それぐらいの配慮は、A4の紙1枚だけですだからそのくらいはつけることはできるんじゃないでしょうかね。

○小川都市計画課長 詳しい内容といいますか、そういうことができるかどうかというのまで今ここで答えすることができないので、研究課題とさせていただきます。

○中西委員 振り込め詐欺と紛らわしいようなことがないように、ぜひ配慮をしていただきたいということをお願いしておきます。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

196ページの文化施設費から最後まで、207ページ最後まで行きます。

○中西委員 204ページのこの災害復旧費、農林水産施設災害復旧費ですけども、これは吉永のため池の土手でしたかね。

○大森建設課長 吉永の大池でございます。

○中西委員 これは繰越明許で工事は現在はもう終わっていると。いつ頃終わったんか。

○大森建設課長 令和4年6月28日に竣工検査を実施しております。

○小川都市計画課長 先ほどの債権回収についてですけれども、督促状の文言の中に家賃滞納が続く場合、法的手段による対応を取りますので、申し添えますと書いてあります。その前に、指定納付期限までに納付が困難な場合や納付に関する相談がございましたら都市住宅課市営管理係まで御連絡くださいと書いてあるんで、どうしても払いたくても払えない、そういう御事情の御家庭もあるんで、ぜひともそちらの都市計画課に相談していただきたいと思います。

○石原委員 分かるんですけど、だから僕言いたいのは封筒のせめてどっかにも備前市の債権回収の事務委託しとることが分かるような表現ができれば、それは恐らくですけど、督促を度々されてその方もひよっとしたら御認識されるかも分かりませんが、ある日突然神奈川県のある弁護士事務所から封筒が届いたら、そらあ恐らくそのまま、返って逆効果で開けるんもきょうてかったり、そら分かるんですよ、そこまでいくまでにお支払いいただけりゃ。じゃから、せめてそこへ委託をされて債権回収に当たるときに少しでも配慮があれば、封筒の書面の前に封筒のどこかへでも何か備前市が感じ取れるところがあったらええんじゃないかかなという思いであります。それはお伝えしておきます。

○中西委員 課長の言われるのも分かるんですけども、例えば私もある研究会に参加すると、東京での研究会でしたけど、何と振込先が沖縄県なんですわ。琉球銀行というのは沖縄の銀行なんです。これは何か大丈夫かなと思って一回確認しましたわ。そういうところでもそんながある、私も疑問に思ったりするところがあるわけですから、もう少しこれは備前市の収納代行でこういうことをやっているんですというの分かるような文書を1枚つけてあげると私はそういう意見は出てこないと思うんですよ。

東京で行う研究会の費用の振込先が沖縄県なんかだったら本当僕もびっくりしました。でも、

それは間違いないんです。それは私も確認をしますから。

ぜひ研究をしてください。

○森本委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは最後に、全体で歳入歳出で質疑漏れ等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第74号令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、文化観光部、産業部、都市整備部、総合支所部関係の全ての審査を終了いたします。

それでは、これをもって予算決算審査委員会を閉会いたします。

今回は31日月曜日、午前9時30分から市長公室、総合政策部、総務部、総合支所部ほか関係の審査を行いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

皆さん、御苦労さまでした。ありがとうございました。

午後4時45分 閉会